

1 本協議会設置の趣旨

- 福岡市は、平成 16 年度から、「自治協議会制度」を開始し、自治協議会を「共働のパートナー」として新たなコミュニティ施策を実施し、住民自治及びコミュニティと市の共働によるまちづくりを推進している。
- 自治協議会制度発足から 10 年が経過した平成 26 年 7 月に「地域のまち・絆づくり検討委員会」を設置し、これまでの成果と課題、求められる取組みなどについての検討が行われ、平成 27 年 10 月に「魅力づくり」「絆づくり」「担い手づくり」の提言を受けた。
- 市は、この提言を踏まえ、地域のまちづくりを、「自治の確立」の段階から、自治協議会を中心に企業や NPO、大学などと共に創る「共創」の段階に進め、地域の未来を様々な主体と共に創る取組みを推進に向けた取組みに着手した。
- これらの取組みを着実に推進するため、様々な主体がそれぞれの役割に応じて、共創による地域のまちづくりに取り組むために、必要な事項等についての情報交換及び協議を行うための組織として、「共創による地域づくり推進協議会」を設置する。

※ コミュニティに関する取組みの経過

平成 16 年	4 月 「自治協議会制度」をはじめとした新たなコミュニティ施策を開始
平成 18 年	10 月 「福岡市コミュニティ関連施策のあり方検討会」を設置
平成 19 年	10 月 検討会が「コミュニティ関連施策のあり方に関する提言（第1次）」を市長に提出 （「コミュニティへの財政的支援のあり方」を中心とした内容）
平成 20 年	4 月 提言を踏まえ「活力あるまちづくり支援事業補助金」の見直しを実施 10 月 検討会が「コミュニティ関連施策のあり方に関する提言（第2次）」（最終提言）を市長に提出 （「コミュニティの自治の確立」「コミュニティと市の共働」に関する内容）
平成 26 年	7 月 「地域のまち・絆づくり検討委員会」を設置
平成 27 年	10 月 検討会が「地域のまち・絆づくり検討委員会 提言」を市長に提出 「魅力づくり」「絆づくり」「担い手づくり」に向けた取組みを開始

2 本協議会における協議内容（案）

協議内容

- (1) 市が前年度に実施した事業、当該年度に実施予定の事業について意見等をいただく。
- (2) それぞれの主体で行なわれている、また、情報として把握しているコミュニティ支援施策や共働による取組みなどについての情報交換・共有を行う。

3 開催スケジュール（予定）

基本的に 1 年に 1 度。次年度以降は、毎年 9 月頃に会議を開催し、協議等を行う。

第 1 回推進協議会（平成 28 年 3 月 28 日）

〔協議事項〕

- ・地域コミュニティをめぐる現状等について
- ・平成 26、27 年度事業の実施状況について
- ・平成 28 年度の新規事業等について
- ・今後の推進協議会における協議内容、進め方について など

第 2 回以降の推進委員会（毎年 9 月頃）

〔協議事項（案）〕

- ・平成 27 年度事業の実施内容についての意見交換
- ・平成 28 年度の新規事業等取組み状況についての意見交換
- ・それぞれの主体における取組みなどの情報共有 など

平成27年度福岡市総合計画審議会総会資料
(平成27年8月6日開催)

平成 26 年 度

福岡市基本計画に係る実施状況の報告
(抜粋)

福 岡 市

分野別目標総括シート

分野別目標2 ささまざまな支え合いとつながりができている

<めざす姿>

○市民が身近な地域の課題やまちづくりに主体的に関わっており、公民館などの地域コミュニティ活動の場が有効に活用され、多くの市民によるさまざまな活動が行われています。

○交流と対話により、人と人とのつながりが育まれ、さまざまな人々が、共に支え合いながら元気に安心して暮らしています。

○地域コミュニティ、NPO、ボランティア、企業、行政などさまざまな主体が、それぞれの知恵やノウハウなどを持ち寄って共働しており、その相乗効果によってさまざまな社会課題を解決しています。

施策		成果指標		重点事業 ※網かけは再掲	
名称	評価	指標項目	指標の達成状況	名称	進捗状況
施策2-1 支え合いの基盤となる地域コミュニティの活性化	概ね順調	地域活動への参加率(地域活動に参加したことがある市民の割合)	B	活力あるまちづくり支援事業	B
				コミュニティ活動市民参加促進事業	A
施策2-2 公民館などを活用した活動の場づくり	概ね順調	公民館の利用率(年に1~2回以上公民館を利用した市民の割合)	B	自治協議会の運営基盤強化に向けた支援事業	—
				公民館地域人材発掘・育成支援事業	B
施策2-3 支え合いや助け合いによる地域福祉の推進	概ね順調	地域での支え合いにより、子育て家庭や高齢者が暮らしやすいまちだと感じる市民の割合	B	公民館改築	A
				地域・公民館の情報発信の強化	B
施策2-4 NPO、ボランティア活動の活性化	概ね順調	NPO・ボランティア活動などへの参加率(過去5年間にNPOやボランティア活動などに参加したことがある市民の割合)	B	住民の活動の場づくりの充実	B
				市内に事務所を置くNPO法人数	A
施策2-5 ソーシャルビジネスなど多様な手法やつながりによる社会課題解決の推進	概ね順調	市の施策によるソーシャルビジネス起業家数	B	公民館こころ輝くまちふくおか推進事業<再掲1-8>	A
				香椎副都心公共施設整備(市民センター)	A
施策2-3 支え合いや助け合いによる地域福祉の推進	概ね順調	地域での支え合いにより、子育て家庭や高齢者が暮らしやすいまちだと感じる市民の割合	B	香椎副都心公共施設整備(音楽・演劇練習場)	A
				地域交流センター検討(早良区)	B
				地域での支え合い活動支援	A
				共助の仕組みづくり(超高齢社会に対応するための施策の検討)	C
				見守り推進プロジェクト	A
				地域福祉ソーシャルワーカー・モデル事業	A
				絆ファミリー開拓事業<再掲1-7>	—
				留守家庭子ども会事業①(留守家庭子ども会推進事業)<再掲1-7>	A
				留守家庭子ども会事業②(留守家庭子ども会(新築・改築))<再掲1-7>	A
				障がい児の療育の充実①(特別支援学校放課後等支援事業)<再掲1-7>	A
障がい児の療育の充実②(発達障がい児放課後等支援事業)<再掲1-7>	A				
施策2-4 NPO、ボランティア活動の活性化	概ね順調	NPO・ボランティア活動などへの参加率(過去5年間にNPOやボランティア活動などに参加したことがある市民の割合)	B	NPOと行政による共働事業	B
施策2-5 ソーシャルビジネスなど多様な手法やつながりによる社会課題解決の推進	概ね順調	市の施策によるソーシャルビジネス起業家数	B	地域との共生を目指す元気商店街応援事業<再掲6-3>	C

施策評価シート

目標2	さまざまな支え合いとつながりができている		
施策2-1	支え合いの基盤となる地域コミュニティの活性化		
施策の方向性	<p>「地域コミュニティの自治の確立」に向け、自治協議会や自治会・町内会など地域コミュニティの基盤強化や、住民の自治意識の醸成を図ります。</p> <p>また、地域コミュニティが主体的にまちづくりに取り組めるよう、地域の人材の発掘・育成を図るとともに、さまざまな地域の特性に応じた先進的な取り組みを紹介するなど、地域情報発信の充実を図り、地域コミュニティの活性化を支援します。</p>		
施策主管局	市民局	関連局	—

《施策事業の体系》 ★：新規事業、◆：区事業 / 太字：重点事業、その他：主要事業

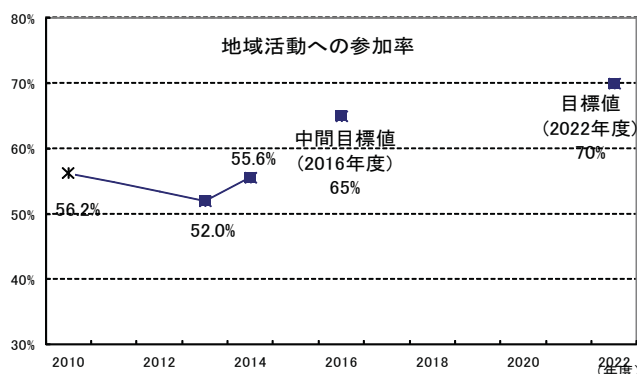
(施策2-1) 支え合いの基盤となる地域コミュニティの活性化

- **地域コミュニティの基盤強化**
 - 活力あるまちづくり支援事業
 - コミュニティ活動市民参加促進事業
 - ★自治協議会の運営基盤強化に向けた支援事業
 - 地域コミュニティ活性化方策の検討
 - ★地域住民が意思決定に参画する区役所事業の実施(地域参画予算)
- **地域コミュニティの活性化、地域人材の発掘・活用**
 - **公民館地域人材発掘・育成支援事業**
 - 区における地域活性化への取り組み
 [◆地域コミュニティ担い手発掘・育成事業<再掲:東区>、◆地域コミュニティ活動活性化支援事業<再掲:中央区>、◆地域を支える人材発掘・育成支援事業<再掲:城南区>、◆シニアのための智恵袋<再掲:早良区>、◆地域の自治力強化に向けた校区支援事業<再掲:西区>]
 - 区における大学との連携による地域人材の発掘・育成
 [◆東区大学・地域まちづくり事業<再掲:東区>、◆大学と地域の縁むすび事業<再掲:南区>、◆大学のあるまちづくり<再掲:城南区>、◆大学と地域の連携・交流促進事業<再掲:西区>]

1 指標

《成果指標》

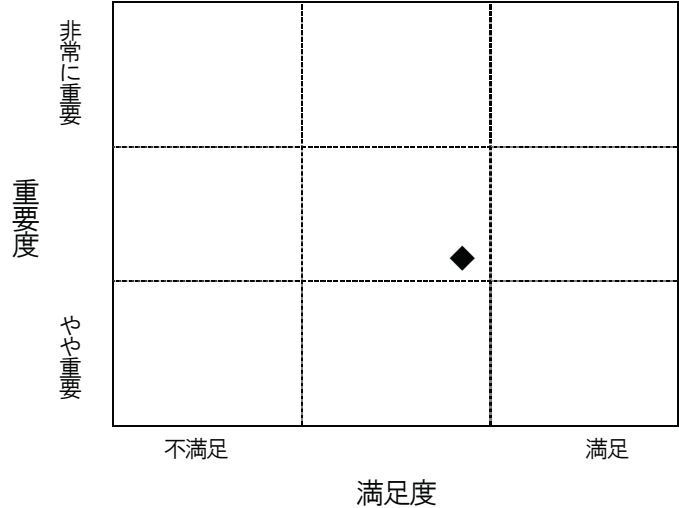
	初期値	現状値	中間目標値 (2016年度)	目標値 (2022年度)	達成状況
地域活動への参加率 (地域活動に参加したことがある市民の割合)	56.2% (2010年度)	55.6% (2014年度)	65%	70%	B



《市民満足度調査（2013年度調査）》

満足度		重要度	
満足	26.3%	重要	53.0%
不満足	15.6%	非重要	5.1%
どちらでもない	55.2%	どちらでもない	37.2%

満足度と重要度の分布（平均評定値）【9区分評価】



2 現状分析

(1) 成果指標等の分析

・初期値と比べ、やや低下しているが、概ね現状維持。

(2) 主な事業の成果

- ・各校区・地区に「活力あるまちづくり支援事業補助金」を交付（147/149 校区・地区）し、自治協議会が主体的に行う交通安全や環境などのまちづくり活動を支援。
- ・自治会活動への新たな参加者の広がりや新たな担い手の発掘など、コミュニティの醸成を図るため、「地域デビュー応援事業」として、3世代交流事業など、自治会・町内会が行う住民相互の交流促進を図る事業を支援（H26:198 件申請，8,700 人参加）。
- ・テーマ毎の活動実践報告などを紹介したコミュニティ通信（年4回）の発行や地域活動の事例発表を行う自治協議会サミット（年1回約750名参加）を開催し、自治協議会等の組織運営の取組事例などの情報を共有。
- ・自治協議会の代表者をはじめとする地域活動実践者や学識者等を構成委員とする「地域のまち・絆づくり検討委員会」を設置し（H26.7）、超高齢社会への対応などを見据えた「地域が主体のまちづくり」や「地域の絆づくり」について議論が行われている。（H26n は6回開催）

●地域コミュニティの活性化、地域人材の発掘・活用

- ・公民館（18 館，延べ2,091 人参加）が地域と連携して、防災ワークショップ等の事業を通して多様な人材の発掘・育成を実施。
- ・各区においても、研修やワークショップなどの実施による地域コミュニティの活性化や、自治協議会と大学生との意見交換会の実施などによる地域人材の発掘・育成を実施。
- ・NPOと共働事業として「地域活動の担い手」を養成することを目的に、地域活動にすでに従事している人や、地域活動への意欲や関心を持つ人が、同じ問題意識を共有し、お互いに結びつきながら、活動のノウハウ（地域活動のやり方・答えの出し方）を学ぶための講座を実施（1校区にて実施：受講者22名）。

(3) 施策推進上の課題

- ・社会経済情勢の変化等（新たな制度創設や法改正など国や県の動向・状況変化等）
- ・施策，事業を進めていく上での主な課題

●地域コミュニティの基盤強化

- ・福岡市は、単身世帯，共同住宅，人口移動が多いため，地域コミュニティ意識が希薄化しやすい都市特性にある。

- *単独世帯の多さ：47.7%（指定都市1位（H22））
- *共同住宅の多さ：75.5%（指定都市1位（H22））
- *人口移動の多さ（居住10年未満人口比率）：50.3%（指定都市1位（H22））
- ・東日本大震災を契機に、地域における住民相互の支え合い等の共助の取組みの重要性がより一層高まっている。
- *H26n 市政アンケート調査
 - ・自治会等が必要だと思う：90.0%
 - ・自治会等が必要だと思う理由
 - ①「住民同士が交流し、顔見知りになることが大切だから」55.4%
 - ②「災害など、いざという時に、地域でのつながりが大切だから」54.3%
- ・自治協議会制度の開始（H16）から10年が経過し、校区での主体的な取組みが見られるようになった一方、住民のコミュニティへの帰属意識の希薄化、地域活動の担い手不足・固定化などが課題となっている。

●地域コミュニティの活性化、地域人材の発掘・活用

- ・住民のコミュニティへの帰属意識が希薄化しており、自治会・町内会においても役員の担い手やコミュニティ活動を担う人材の確保に苦慮している状況となっている。

3 施策の評価（1・2を踏まえた施策の進捗状況）	概ね順調
<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動への参加率は横ばい。 ・自治協議会サミット開催、コミュニティ通信発行、地域デビュー応援事業による自治会・町内会が行う住民相互の交流促進を図る事業の支援など、事業は概ね順調に進んでいる。 	

4 今後の取組みの方向性

●地域コミュニティの基盤強化

- ・コミュニティ通信による地域活動の周知や、自治協議会サミットによる成功事例の共有などに加え、子どもの頃から、地域活動の重要性への理解促進を図るため小学生3年生向けに自治会活動PRパンフレットを配布
- ・住民の自治意識の醸成や活動への参加を促進するため、自治会・町内会が主体的に行う新たな住民相互の交流活動の支援について、日常的な交流の場づくりにも拡充。
- ・「地域のまち・絆づくり検討委員会」からの提言（H27.10 予定）を踏まえ、地域住民が主体的に取り組むまちづくりや超高齢社会への対応などについて検討。

●地域コミュニティの活性化、地域人材の発掘・活用

- ・公民館と地域の連携による地域人材の発掘・育成に向けた取組みを継続。
- ・平成26年度からNPOと共働事業として「地域活動の担い手」を養成することを目的に、活動のノウハウ（地域活動のやり方・答えの出し方）を学ぶための講座に取り組んでおり、H27nは2校区を対象に実施予定。また、共働事業期間終了後に多様な校区で実施可能なプログラムを検討。（H25n 福岡市共働事業提案制度採択事業、最長3年間継続実施予定）

施策評価シート

目標2	さまざまな支え合いとつながりができている		
施策2-2	公民館などを活用した活動の場づくり		
施策の方向性	<p>地域コミュニティ活動の場として活用されている公民館や市民センター、地域交流センターなどの必要な整備を進めます。</p> <p>また、公民館の「集まる」、「学ぶ」、「つなぐ」という機能を活用し、自治協議会、関係団体と連携した地域コミュニティ活動支援に取り組むとともに、小学校をはじめとするさまざまな地域の施設について、ボランティアや住民の活動拠点としての活用を促進します。</p>		
施策主管局	市民局	関連局	経済観光文化局

《施策事業の体系》 ★：新規事業、◆：区事業 / 太字：重点事業、その他：主要事業

(施策2-2) 公民館などを活用した活動の場づくり

● 公民館の機能強化

公民館改築

みんなの公民館づくり

【★地域・公民館の情報発信の強化、★住民の活動の場づくりの充実】

★公民館ころ輝くまちふくおか推進事業<再掲1-8>

● 活動の場づくり

香椎副都心公共施設整備(市民センター、音楽・演劇練習場)

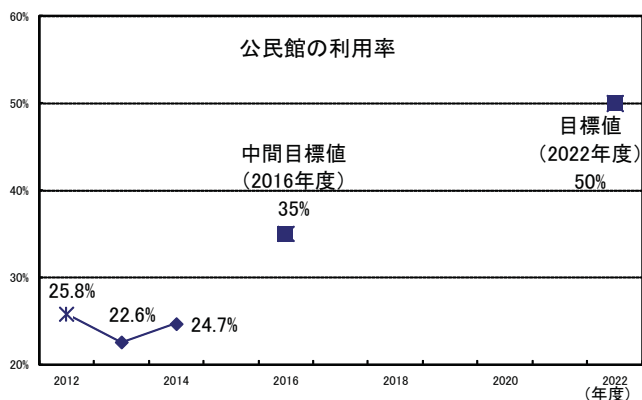
地域交流センター検討(早良区)

地域集会施設建設等助成

1 指標

《成果指標》

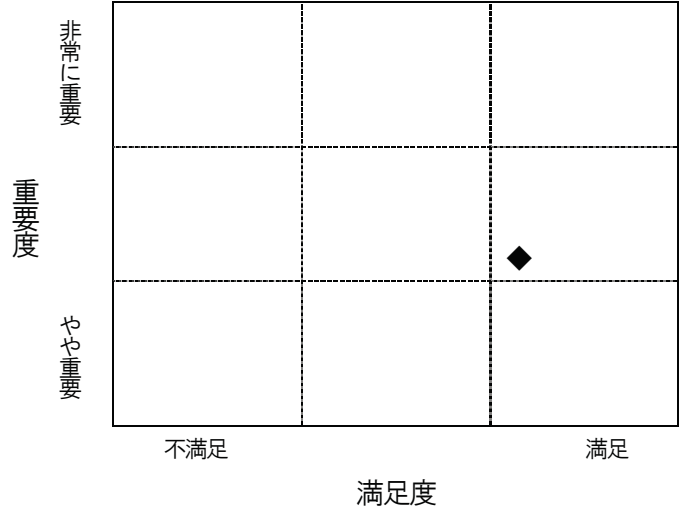
	初期値	現状値	中間目標値 (2016年度)	目標値 (2022年度)	達成状況
公民館の利用率 (年に1～2回以上公民館を利用した市民の割合)	25.8% (2012年度)	24.7% (2014年度)	35%	50%	B



《市民満足度調査（2013年度調査）》

満足度		重要度	
満足	31.7%	重要	53.4%
不満足	12.9%	非重要	6.4%
どちらでもない	53.4%	どちらでもない	36.3%

満足度と重要度の分布（平均評定値）【9区分評価】



2 現状分析

(1) 成果指標等の分析

- ・前年度と比較して微増しているが、おおむね現状の範囲内に止まっている。

(2) 主な事業の成果

●公民館の機能強化

- ・地域コミュニティ機能の強化のため H26n は香住丘の公民館 150 坪化を実施（香椎浜、赤坂は H26n, H27n の2か年工事）
- ・H26n 末現在で 40 館がブログを開設済み。H27n 末で 70 館を目標としている。
- ・H26n にコミュニティ拠点としての機能強化に向け「公民館ミニ図書館事業」を 26 館「ふるさとフォトミュージアム事業」を 33 館で実施。
- ・H26n から「みんなの公民館づくり（活動の場づくり）」で、公民館からの提案方式で企画募集。（ロビー等を有効活用する取り組みの企画が 32 館から提出。うち 12 館の企画が採用。）

●活動の場づくり

- ・集会施設助成制度の利用が困難な自治会、町内会に対応するため、制度を改善し、H26n から年間借上げに係る面積要件の緩和（40 m²→20 m²）や時間・日単位での借上げに対する補助の新設を行い、面積要件緩和分が 1 件、時間・日単位での借上げ分が 3 件の申請があった。
- ・香椎副都心公共施設整備（市民センター、音楽・演劇練習場外）については、H28n 上期開館に向け、H26n より建設工事に着手。
- ・早良区地域交流センターについては、候補地の絞り込みを行い、具体的な計画検討に着手。

(3) 施策推進上の課題

- ・社会経済情勢の変化等（新たな制度創設や法改正など国や県の動向・状況変化等）
- ・施策、事業を進めていく上での主な課題

●公民館の機能強化

- ・公民館は、利用者が固定化している状況にある。公民館の事業や活動について周知方法を検討し、新たな利用者の拡大を図ることが必要。
- ・地域コミュニティ拠点としての公民館の充実には、さまざまな行事等を共催していく地域団体や学校等と連携強化が不可欠。
- ・H26n に実施した「公民館ミニ図書館事業」「ふるさとフォトミュージアム事業」については、地域のコミュニティ活動を推進するため、H27n も継続して実施していく。

●活動の場づくり

- ・地域交流センター（早良区）について、区レベルの行政サービスを補完する施設として、導入機能などの検討が必要。
- ・千早音楽・演劇練習場の整備は、市民センターとの複合施設であることから、利用者が使いやすいような運用の検討、調整が必要。
- ・地域集会施設については、新築や増改築等への助成を行っているが、都心部では土地の確保、借り上げが困難な自治会・町内会があるため、新たな支援策の検討が必要。

3 施策の評価（1・2を踏まえた施策の進捗状況）

概ね順調

- ・公民館の利用率は横ばいで推移。
- ・公民館の150坪化、インターネットを活用した公民館の情報発信、香椎副都心公共施設整備など、事業は概ね順調に進んでいる。

4 今後の取組みの方向性

●公民館の機能強化

- ・年3館ペースで公民館の150坪化を実施。
- ・公民館の活動に対する地域住民の認知度向上、利用者の増加を図るため、公民館ブログの開設など、今後もインターネットを活用した情報発信を推進。
- ・活動の場づくりについては、H26n から、公民館毎に独自の発想を生かした効果的な取組みを、提案方式で実施。また、H26n から、地域住民が気軽に立ち寄り、ふれあいや交流を促進するための新たなコミュニティ活動の場を創出する取組みとして「公民館ミニ図書館事業」、「ふるさとフォトミュージアム事業」を開始しており、取組みを推進。

●活動の場づくり

- ・香椎副都心公共施設整備（市民センター、音楽・演劇練習場）については、H28.6 上旬開館に向け、複合施設の特性を生かした施設となるよう、運用面での調整を図りながら整備を推進。
- ・早良区地域交流センターの早期整備に向け、基本構想及び基本計画の策定など、具体的な検討を推進。

施策評価シート

目標2	さまざまな支え合いとつながりができている		
施策2-3	支え合いや助け合いによる地域福祉の推進		
施策の方向性	子育て家庭や高齢者、障がいのある人をはじめ、誰もが住み慣れた地域で安心して健やかに暮らしていくことができるように、自主的な見守り活動や声かけなどを通じて、隣近所などと普段から顔の見える関係づくりを進めるとともに、「支える人」を支えることも含め、住民、NPO、企業など多様な主体が地域全体で支え合う関係を築くための支援を行います。		
施策主管局	保健福祉局	関連局	総務企画局, こども未来局

《施策事業の体系》 ★：新規事業、◆：区事業 / 太字：重点事業、その他：主要事業

(施策2-3)支え合いや助け合いによる地域福祉の推進

●見守り・支え合いの仕組みづくり

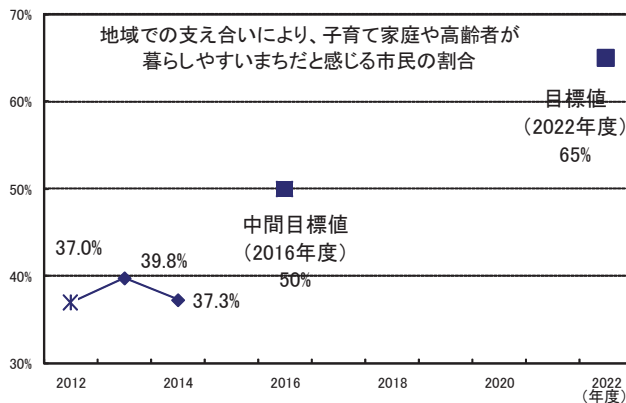
- 地域での支え合い活動支援
- 共助の仕組みづくり(超高齢社会に対応する施策の検討)
- ★見守り推進プロジェクト(NPOとの共働等)
- 地域福祉ソーシャルワーカー・モデル事業
- 安心情報キット配付事業
- ◆いきいきシニア応援事業<再掲:南区>
- ★絆ファミリー開拓事業(校区里親)<再掲1-7>
- 留守家庭子ども会事業<再掲1-7>
- 障がい児の療育の充実[特別支援学校放課後等支援事業、発達障がい児放課後等支援事業、障がい児地域交流支援事業]<再掲1-7>

※「絆ファミリー開拓事業(校区里親)」は、H26年度より「里親制度推進事業」に統合

1 指標

《成果指標》

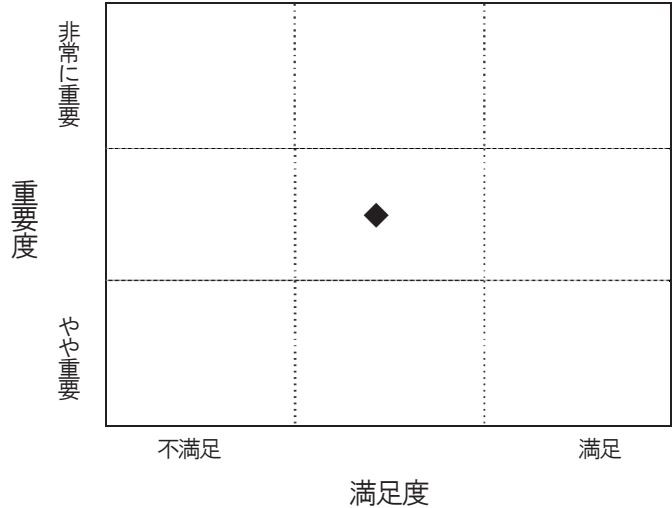
	初期値	現状値	中間目標値 (2016年度)	目標値 (2022年度)	達成状況
地域での支え合いにより、子育て家庭や高齢者が暮らしやすいまちだと感じる市民の割合	37.0% (2012年度)	37.3% (2014年度)	50%	65%	B



《市民満足度調査（2013年度調査）》

満足度		重要度	
満足	22.9%	重要	69.8%
不満足	19.2%	非重要	2.9%
どちらでもない	55.1%	どちらでもない	23.1%

満足度と重要度の分布（平均評定値）【9区分評価】



2 現状分析

(1) 成果指標等の分析

成果指標は、概ね現状維持の範囲内であるが中間目標までは開きがある。

(2) 主な事業の成果

●見守り・支え合いの仕組みづくり

- ・地域での支え合い活動支援 ※H27.3 末現在

ふれあいネットワーク（助成自治会・町内会数：1,728 箇所 見守り世帯数：35,108 世帯）

※H26.3 末時点（助成自治会・町内会数：1,621 箇所 見守り世帯数：31,632 世帯）

ふれあいサロン（助成箇所数 352 箇所 実利用者数：8,915 人）

※H26.3 末時点（助成箇所数 327 箇所 実利用者数：7,980 人）

- ・高齢者住まい・生活支援モデル事業

福岡市社会福祉協議会が相談窓口となり、保証人がいない等の理由により住み替えが困難な高齢者の民間賃貸住宅への入居及びその後の生活を支援する事業。

協力店における成約件数：4件

※厚生労働省の低所得高齢者等住まい・生活支援モデル事業として採択（H26～28n）

- ・見守りダイヤル通報件数 167 件（うち救命等 11 件，死亡確認 21 件，生存等確認 135 件）（H26n）
- ・出張講座（11 件）※講座内容「現場から見た孤立死防止」，「終活・エンディングノート」など
- ・アジアン・エイジング・ビジネスセンター，九州経済調査協会，福岡市が共同研究チームを結成し，科学技術振興機構から助成金を受け，モデル地区において，地域課題と地域の人材や資源を把握・見える化し，それらをマッチングすることで解決策を考えるしくみ・手法の調査検討を実施したほか，企業やNPO等が参加する仕組みづくり，地域でのコーディネート人材の育成等についての調査検討を実施。
- ・里親広報DVDを活用した里親制度に関する出前講座を積極的に実施。
- ・児童の生活基盤である地域での一時保護委託の実施を目指しているが，受託可能な里親の確保ができていない。
- ・留守家庭子ども会推進については，新たに 23 施設で 5 年生の通年受け入れを開始し，全 136 施設で少なくとも 5 年生までの通年受け入れを実現。今後，H27n までに全学年の受け入れ体制を整備予定。
- ・施設整備に関しては，H25n で学年拡大による施設整備が完了したが，入会児童数等の増加等により，プレハブ施設の増改築 2 か所，教室利用による暫定的な狭隘化対策 1 か所，新設校開校による新築 1 か所の施設整備を実施。
- ・放課後や土曜・長期休暇中の障がい児の預かりを，市内 7 か所の特別支援学校で，発達障がいがある児童・生徒の預かりを 2 か所で実施し，事業者，関係機関，市との情報交換の場として連絡会議を 2 か月に 1 回開催。また，各特別支援学校放課後等支援事業保護者会長と市の懇談会を開催。

(3) 施策推進上の課題

・社会経済情勢の変化等(新たな制度創設や法改正など国や県の動向・状況変化等)

・施策, 事業を進めていく上での主な課題

●見守り・支え合いの仕組みづくり

・高齢化の進展や単身高齢者世帯の増加などに対応するため, 地域での支え合い体制の強化が必要。

・住み慣れた地域での生活の継続を望む高齢者を支えていくためには, 公的サービスだけでは対応できなくなることが予想されるため, 公的サービス以外のさまざまな事業主体によるサービスや住民が主体となった支援などが必要。

・福岡市の子育て環境満足度は 60.4%となっているが, 都市化・核家族化や転入者が多い状況等を背景に, 地域や社会から孤立しがちな子育て家庭が増え, 約7割の保護者が, 子育てについて不安や負担を感じていることから, 地域で支え合い, 子どもを見守り育む仕組みづくりが課題。しかし, 地域で子どもの育成に携わる指導者等が不足。

・国の「里親委託ガイドライン」に里親委託優先の原則が明記される中, 福岡市では, H25n までは里親登録数 (H25n : 130 世帯), 里親等委託率 (H25n:31.9%) とともに年々増加していたが, 里親家庭を必要としている子どもの増加に新規里親登録が追いついていない状況にあり, 前年度は里親家庭が慢性的に不足していた。様々な事情により家庭で暮らせない子どもを, 家庭で養育するため, 里親制度のさらなる拡充が必要。

・留守家庭子ども会 (放課後児童健全育成事業) については, 設備・運営基準の条例を制定し (H26.9), 引き続き, 児童数などの状況に応じた設備, 運営環境の整備への取り組みが必要。

3 施策の評価(1・2を踏まえた施策の進捗状況)

概ね順調

・成果指標は横ばいで推移。

・ふれあいネットワークやふれあいサロン, 見守り推進プロジェクト, 留守家庭子ども会事業や障がい児療育の充実など, 事業は概ね順調に進んでいる。

4 今後の取り組みの方向性

●見守り・支え合いの仕組みづくり

・各区保健福祉センターと, 社会福祉協議会が配置する地域福祉ソーシャルワーカーが連携を強化し, 誰もが住み慣れた地域で安心して健やかに暮らしていくことができるよう, 地域住民, 民生委員, 社会福祉協議会のほか, NPO や企業など多様な主体による地域全体での支え合い, 助け合いの仕組みづくりを推進。

・共助の仕組みづくり (超高齢社会に対応する施策の検討) について, フォーラム等で地域や関係団体等に研究成果を周知するとともに, 開発したツールや地域住民の事業参加促進手法を地域福祉ソーシャルワーカーが地域を支援する際に活用するなど, 研究成果を具体化し, 実装化に向けて検討。

・今年度も継続して短期専任の里親区分構築に取り組むとともに, 将来的に「全小学校区での里親登録」を目指し, 新規里親開拓に取り組む。

・子どもたちの放課後の居場所や障がい児を見守る体制の充実を図るなど地域における子育て支援を推進。

・留守家庭子ども会について, H27n に全施設で全学年の受け入れが実現するよう体制整備を進めるとともに, 児童数などの状況に応じた運営環境の向上を促進。

施策評価シート

目標2	さまざまな支え合いとつながりができている		
施策2-4	NPO、ボランティア活動の活性化		
施策の方向性	市民が市民公益活動への理解を深め、自らがその担い手として自主的・主体的に参加できるよう支援するとともに、NPOの活動が社会で認知・理解され、多くの支援の輪が広がり、新しい公共の担い手として活動できるよう支援し、市民・NPO・行政などの共働による地域課題の解決を推進します。		
施策主管局	市民局	関連局	—

《施策事業の体系》 ★：新規事業、◆：区事業 / 太字：重点事業、その他：主要事業

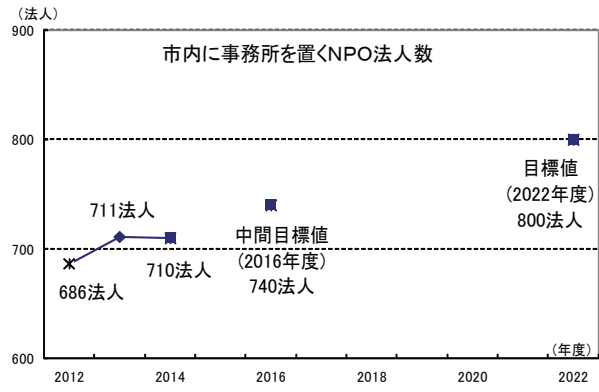
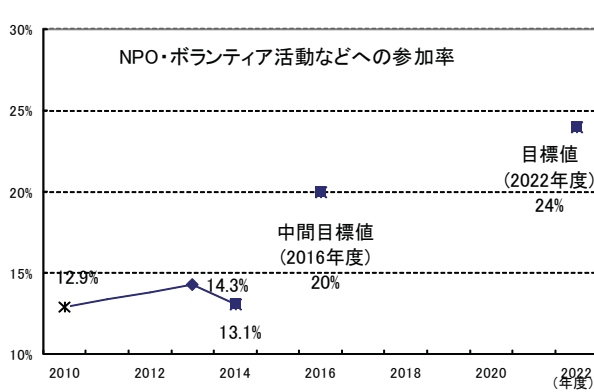
(施策2-4) NPO、ボランティア活動の活性化

- NPO、ボランティア活動の支援
 - └ NPO・ボランティア活動支援
- 共働の推進
 - └ **NPOと行政による共働事業**
 - └ ★◆東区いきいきまちづくり提案事業<再掲:東区>

1 指標

《成果指標》

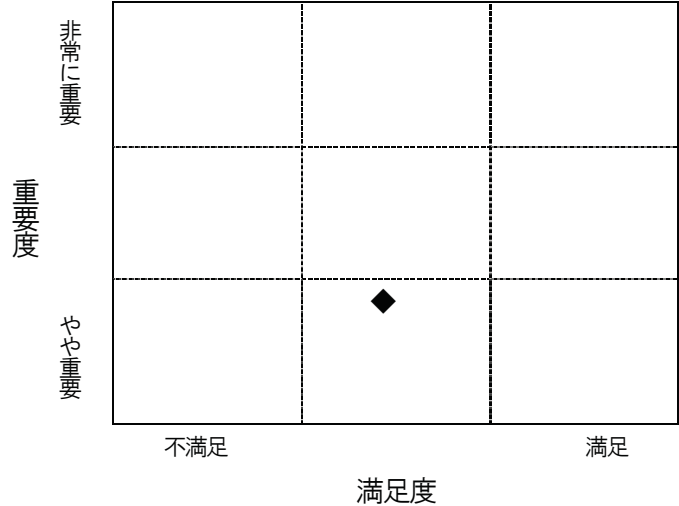
	初期値	現状値	中間目標値 (2016年度)	目標値 (2022年度)	達成状況
NPO・ボランティア活動などへの参加率 (過去5年間にNPOやボランティア活動などに参加したことがある市民の割合)	12.9% (2010年度)	13.1% (2014年度)	20%	24%	B
市内に事務所を置くNPO法人数	686 法人 (2012年度)	711 法人 (2014年度)	740 法人	800 法人	A



《市民満足度調査（2013 年度調査）》

満足度		重要度	
満足	17.8%	重要	46.2%
不満足	11.8%	非重要	6.6%
どちらでもない	67.7%	どちらでもない	42.7%

満足度と重要度の分布（平均評定値）【9区分評価】



2 現状分析

(1) 成果指標等の分析

- ・NPO・ボランティア活動などへの参加率は概ね現状維持の範囲内であるが、中間目標には開きがある。
- ・市内に事務所を置く NPO 法人数は初期値より増加している。

(2) 主な事業の成果

●NPO・ボランティア活動の支援

- ・NPO 活動支援基金への寄付に関して、市 HP やチラシ配布等による広報を実施（前年度寄付受入額から、約 21%増（下記参照））。
- ・基金への寄付を原資に NPO 法人が行う公益活動に対し助成を行う NPO 活動推進補助金事業を実施。
 ＊寄付受入額：H24n：260 万円（29 件）、H25n：370 万円（40 件）、H26n：446 万円（29 件）
 ＊補助額：H24n：126 万円（9 件）、H25n：297 万円（7 件）、H26n：363 万円（10 件）
- ・NPO 法人の認証・認定の適切な実施（H26n：新規設立認証 25 件、新規認定 NPO 法人 6 件）。
- ・NPO 法人の基盤強化に向け長期間にわたる継続的なマーケティング研修を実施（H26n 受講法人数：5 法人）。

●共働の推進

- ・NPO による共働事業提案の中から公開プレゼンテーションにより新たに 4 事業を採択するとともに、平成 25 年度までの採択分等 5 事業を実施。

(3) 施策推進上の課題

- ・社会経済情勢の変化等（新たな制度創設や法改正など国や県の動向・状況変化等）
- ・施策、事業を進めていく上での主な課題
- ・「特定非営利活動促進法」が改正され、NPO 法人の認証・認定等の業務が県及び国税庁から指定都市に移管されたことにより、市と NPO 法人との関わりが大きくなり、法人運営上の課題がより具体的に把握できるようになったため、よりきめ細やかな支援の推進が求められる。（H24.4 施行）。

●NPO・ボランティア活動の支援

- ・地域社会における課題が複雑・多様化する中、公共の担い手である NPO への期待が高まる一方で、NPO に関する情報が市民に十分伝わっていないため、いまだ理解と参加が不十分。
- ・NPO を支える人材が質・量ともに不足。（職員数が 5 人以下の法人が 7 割）
- ・NPO の財政基盤を支援する「NPO 活動支援基金」の認知度、寄付額がともに低く、公益活動を支える資金が不足。
- ・NPO が市民や社会から認知・共感・信頼され、支援の輪を広げるための情報が不足。

●共働の推進

- ・市職員を含めて共働に対する認知度や理解が低い上に、市民・NPO・行政がより良く共働していくための

仕組みが不十分。

3 施策の評価（1・2を踏まえた施策の進捗状況）

概ね順調

- ・NPO・ボランティア活動参加率に関する成果指標は横ばい。NPO法人数に関する指標は増加している。
- ・NPOと行政による共働事業の実施，NPO活動支援基金の広報，基金を原資にした公益活動への助成など，事業は概ね順調に進んでいる。

4 今後の取組みの方向性

- ・「市民公益活動の推進に係る施策基本方針」（H24.3策定）に基づき施策を推進し，市民公益活動推進審議会において，毎年進捗状況をフォローアップするとともに，平成28年度を目処に取り組み全体の見直し予定。
- ・平成27年度は，本方針に基づき取り組み全体の見直しの検討を実施。

●NPO・ボランティア活動の支援

- ・市民が公益活動への理解を深め，自らが公益活動の担い手であるとの認識の下に，自主的・自発的に公益活動に参画できるよう支援。
- ・NPOが広く社会で認知，理解，支援されることにより，自立的な活動を継続的に展開できるよう支援。
- ・NPO法人の運営基盤強化のための，財務，会計，税務といった法人運営において必要な内容の研修の実施や，申請の事前相談から設立後の運営に対して助言を行うなど，きめ細やかに支援。

●共働の推進

- ・市民，NPO，行政が，適切な役割分担と対等なパートナーシップのもと共働していくために支援するとともに，共働事業提案制度（H20n～）を活用して共働事業をさらに促進。
- ・平成27年度は，本方針に基づき制度全体の振り返りを実施。

施策評価シート

目標2	さまざまな支え合いとつながりができている		
施策2-5	ソーシャルビジネスなど多様な手法やつながりによる社会課題解決の推進		
施策の方向性	福祉、子育て、環境、まちづくりなどにおける多様な社会・地域の問題の解決に向けて、ビジネスの手法により取り組むソーシャルビジネスの普及促進をはじめ、福岡市と企業との包括連携協定に基づく共働事業を推進するなど、多様な手法やつながりによる社会課題の解決に取り組みます。		
施策主管局	総務企画局	関連局	経済観光文化局

《施策事業の体系》 ★：新規事業、◆：区事業 / 太字：重点事業、その他：主要事業

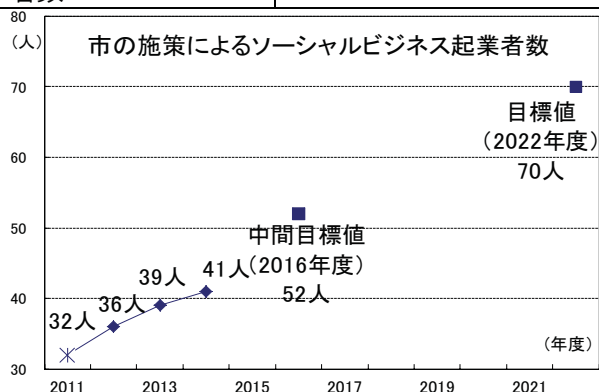
(施策2-5) ソーシャルビジネスなど多様な手法やつながりによる社会課題解決の推進

- ソーシャルビジネスの普及・促進
 - ソーシャルビジネスの振興
 - ★地域との共生を目指す元気商店街応援事業<再掲6-3>
 - 包括連携協定に基づく事業の推進

1 指標

《成果指標》

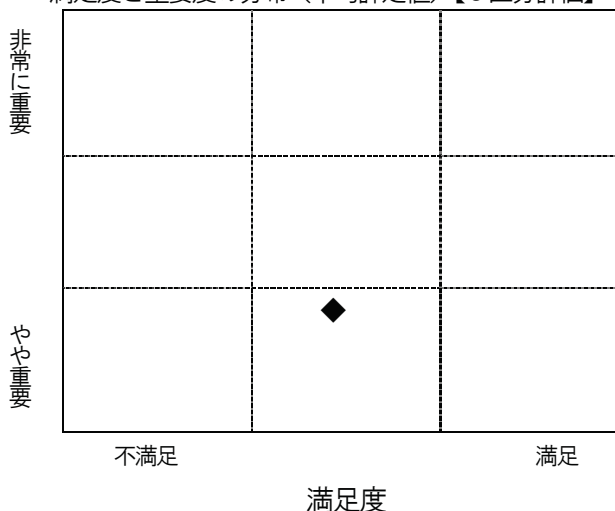
	初期値	現状値	中間目標値 (2016年度)	目標値 (2022年度)	達成状況
市の施策によるソーシャルビジネス起業者数	32人 (2011年度)	41人 (2014年度)	52人	70人	B



《市民満足度調査（2013年度調査）》

満足度		重要度	
満足	14.2%	重要	45.4%
不満足	14.8%	非重要	6.2%
どちらでもない	67.6%	どちらでもない	43.2%

満足度と重要度の分布（平均評定値）【9区分評価】



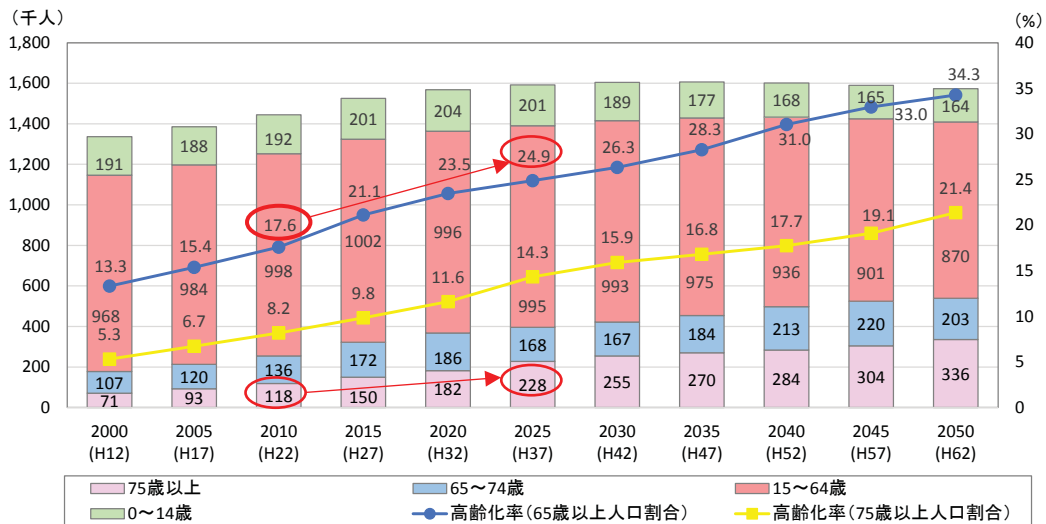
2 現状分析	
(1) 成果指標等の分析	
事業再編に伴い成果指標の集計方法が変更となった初年度だが、現時点では実績値に大きな影響は出ておらず、目標に対して堅調に増加している。	
(2) 主な事業の成果	
<p>●ソーシャルビジネスの普及・促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との共生を目指す元気商店街応援事業（以下「元気商店街応援事業」）として、H25.12～H26.3に名島商工連合会とNPO法人が連携した買い物支援事業（宅配・送迎サービス）を実施。 <ul style="list-style-type: none"> *宅配利用軒数：22軒，配達回数32回 *送迎8回，延べ160人 また、南区柳瀬町商店連合会において、H27.1より買い物支援事業（御用聞き並びに宅配サービス（会員登録制））を実施。会員登録数：64名（H27.3末時点） ・福岡市と包括連携協定を締結している(株)ローソン、福岡ソフトバンクホークス(株)、イオン(株)、(株)セブンイレブンジャパン、市内郵便局、NTT(株)（計6社）と共働して、様々な連携事業を実施。 <ul style="list-style-type: none"> *H26nの新規連携事業 市内郵便局：郵便配達時等の異変の通報や市内小中学生を対象とした手紙の書き方体験授業等を通して、市民サービスの向上に寄与。 NTT(株)：ICT技術を活用した情報発信やビッグデータの活用によるアイデアソン等の実施で、市民サービスの向上に寄与。 	
(3) 施策推進上の課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・社会経済情勢の変化等（新たな制度創設や法改正など国や県の動向・状況変化等） ・施策、事業を進めていく上での主な課題 	
<p>●ソーシャルビジネスの普及・促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福岡市では、市民に対するソーシャルビジネスの普及啓発、起業支援などを行っており、市内のSB事業者数は増加。（H26n:132事業者） ・一方、ソーシャルビジネスは社会課題の解決に取り組むために有意義である反面、収益性や雇用効果が弱い。 ・全国の自治体で、企業と包括的な連携協定を締結し、地域の活性化や市民サービスの向上に取り組む事例が増加。 	
3 施策の評価（1・2を踏まえた施策の進捗状況）	概ね順調
<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標は堅調に増加している ・包括連携協定を締結した企業との共働事業の実施など、事業は進んでいる。 	
4 今後の取組みの方向性	
<p>●ソーシャルビジネスの普及・促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルビジネスを創業の一形態と捉え、創業支援施策全体の枠組みの中で柔軟に支援。 ・元気商店街応援事業は、効果の検証を行い、必要に応じて事業内容を見直し、今後も効果検証を行いながら運用していく。 ・包括連携協定に基づき、企業と福岡市が共働で、双方が利益を受ける「WIN×WIN」の関係を目指しながら、地域の活性化や市民サービスの向上のために、様々な分野での連携事業に取り組む。 ・H27.4に包括連携協定を締結したNTT(株)との協議を進め、今後具体的に、協定に基づく共同事業に取り組む。 	

地域コミュニティをめぐる現状等について

1. 人口構成等

- ・福岡市の人口は150万人を超え、現在も増加している。
- ・福岡市は、全国で人口が減少し高齢化が進展する中、人口増加数と人口増加率、若者率が政令指定都市で第一位であるが、校区ごとに見れば、大きく高齢化が進んでいるところもある。
- ・市内149の小学校区・地区の全てに自治協議会が設立されて自治活動が行われているが、地域の特徴（人口数や単身世帯率、高齢化率など）は、校区によって大きく異なる。
- ・超高齢社会の到来や東日本大震災などの影響により、地域コミュニティの力が再認識され、見守り、支え合いの場としての期待が高まっている。
- ・地域においても、見守りや支え合いなどが大きな課題となっており、現在の価値観やライフスタイルにあわせた地域の絆づくりが求められている。

■ 年齢区分別人口と高齢化率の推移・将来推計



資料：実績値は国勢調査

推計値は福岡市の将来人口推計（平成24年3月推計）福岡市総務企画局

■ 世帯構成の推移



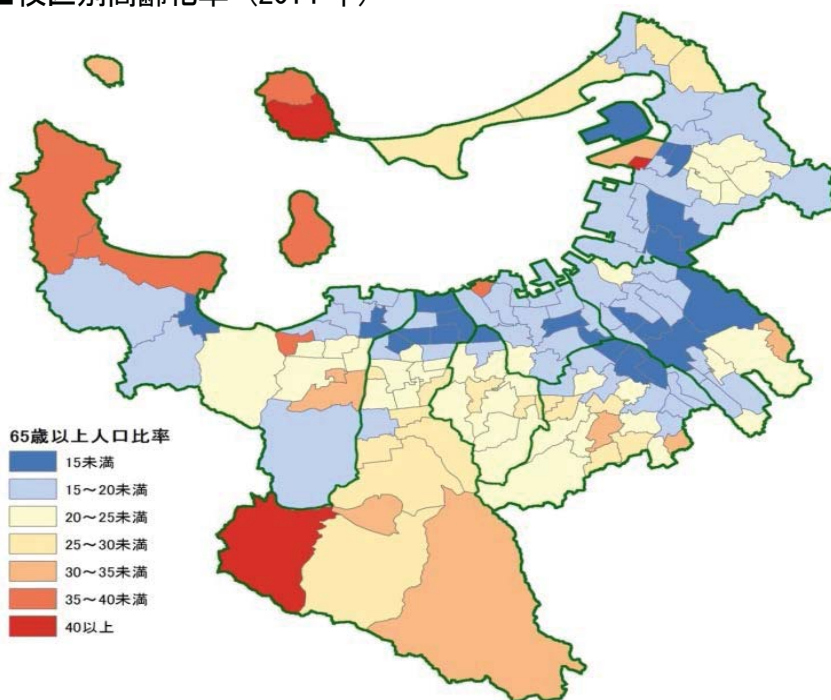
資料：実績値は国勢調査

推計値は福岡市の将来人口推計（平成24年3月推計）福岡市総務企画局

■人口区分ごとの校区数

人口区分	～2,000人	2,001人 ～5,000人	5,001人 ～10,000人	10,001人 ～15,000人	15,001人～
校区・地区数	6	10	59	55	19

■校区別高齢化率（2014年）



<校区別高齢化率 上位10校区>

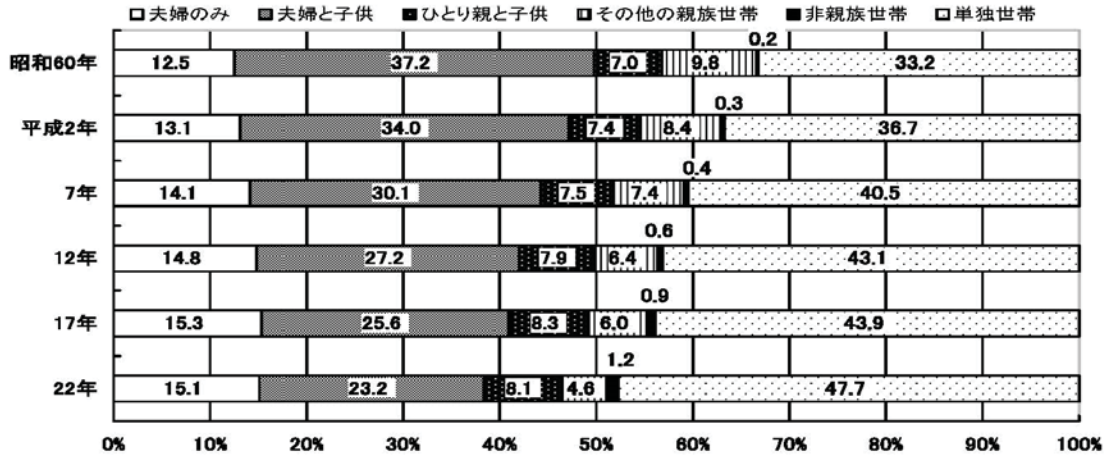
小学校区	区	校区人口		
		高齢化率 (%)	65歳以上人口(人)	総人口(人)
1	曲淵 早良	46.01%	75	163
2	城浜 東	43.35%	1,545	3,564
3	志賀島 東	41.93%	652	1,555
4	福浜 中央	38.58%	2,016	5,225
5	能古 西	38.33%	271	707
6	今津 西	36.60%	1,097	2,997
7	西陵 西	36.52%	1,977	5,414
8	北崎 西	35.20%	882	2,506
9	勝馬 東	35.18%	89	253
10	壱岐南 西	33.07%	3,447	10,423

<校区別高齢化率 下位10校区>

小学校区	区	校区人口		
		高齢化率 (%)	65歳以上人口(人)	総人口(人)
1	照葉 東	4.20%	243	5,785
2	東住吉 博多	11.98%	1,090	9,102
3	千早 東	12.35%	1,288	10,428
4	松島 東	12.66%	2,251	17,777
5	姪浜 西	12.71%	1,856	14,600
6	高取 早良	13.25%	2,162	16,313
7	原北 早良	13.42%	1,058	7,886
8	玄洋 西	13.42%	1,901	14,166
9	西新 早良	13.43%	2,196	16,346
10	高宮 中央	13.64%	1,648	12,083

出典：住民基本台帳（日本人人口：平成26年9月現在）[福岡市]

■家族類型別世帯割合の推移



資料：平成22年国勢調査人口等基本集計結果概要（福岡市）

<校区別単身世帯率 上位10校区>

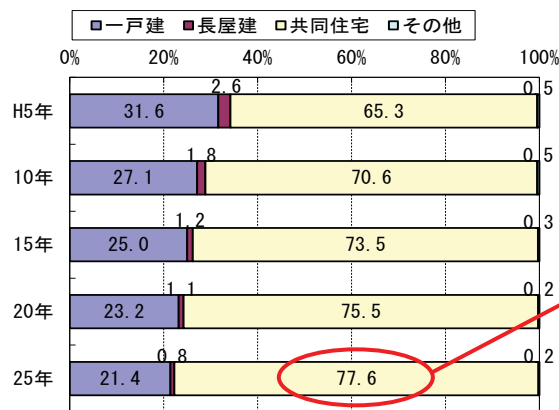
小学校区		校区人口	単身世帯率 (%)	単身世帯数 (戸)	総数 (戸)
1	東住吉 博多	6,849	83.92%	6,849	8,161
2	春吉 中央	9,096	83.23%	9,096	10,929
3	住吉 博多	5,463	81.25%	5,463	6,724
4	博多 博多	12,797	78.62%	12,797	16,276
5	堅粕 博多	6,378	77.96%	6,378	8,181
6	千代 博多	6,128	76.38%	6,128	8,023
7	高宮 中央	6,520	74.32%	6,520	8,773
8	大楠 南	5,262	73.31%	5,262	7,178
9	春住 博多	4,633	72.56%	4,633	6,385
10	舞鶴 中央	11,329	61.87%	11,329	18,312

<校区別単身世帯率 下位10校区>

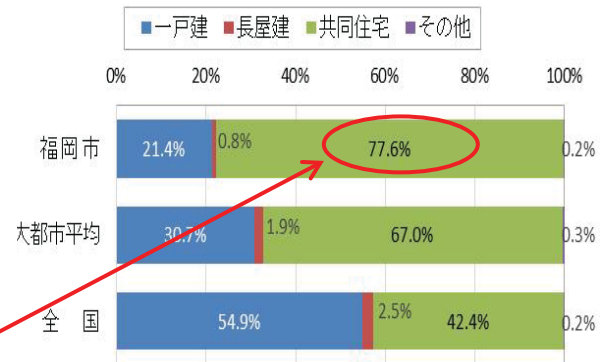
小学校区		校区人口	単身世帯率 (%)	単身世帯数 (戸)	総数 (戸)
1	金武 西	131	8.91%	131	1,471
2	壱岐南 西	530	14.80%	530	3,580
3	青葉 東	661	15.68%	661	4,216
4	柏原 南	532	16.51%	532	3,223
5	照葉 東	230	16.85%	230	1,365
6	早良 早良	238	17.42%	238	1,366
7	壱岐 西	977	17.52%	977	5,575
8	入部 早良	461	17.85%	461	2,583
9	脇山 早良	149	17.97%	149	829
10	内野 早良	428	18.76%	428	2,281

出典：住民基本台帳（日本人人口：平成26年9月現在）[福岡市]

■住宅の建て方別割合の推移



<住宅の建て方別割合>



資料：住宅・土地統計調査

<校区別集合住宅率 上位10校区>

小学校区		校区人口	集合住宅率 (%)	集合住宅数 (戸)	総数 (戸)
1	香椎浜 東	2,246	99.69%	2,246	2,253
2	城浜 東	2,304	99.65%	2,304	2,312
3	壱岐東 西	2,134	99.58%	2,134	2,143
4	香陵 東	1,779	99.27%	1,779	1,792
5	舞鶴 中央	5,381	98.95%	5,381	5,438
6	堅粕 博多	7,884	97.78%	7,884	8,063
7	東住吉 博多	7,730	97.54%	7,730	7,925
8	有住 早良	2,251	97.11%	2,251	2,318
9	東箱崎 東	3,144	96.03%	3,144	3,274
10	千早 東	3,316	96.00%	3,316	3,454

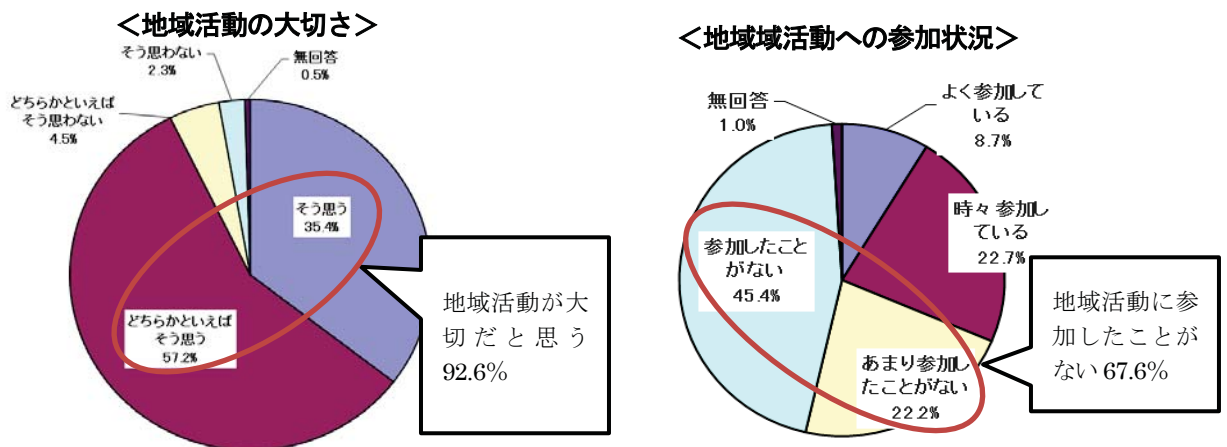
<校区別集合住宅率 下位10校区>

小学校区		校区人口	集合住宅率 (%)	集合住宅数 (戸)	総数 (戸)
1	勝馬 東	0	0.00%	0	56
1	志賀島 東	0	0.00%	0	567
1	曲淵 早良	0	0.00%	0	63
1	能古 西	0	0.00%	0	253
5	金武 西	5	0.35%	5	1,440
6	北崎 西	5	0.66%	5	761
7	脇山 早良	25	3.11%	25	804
8	今津 西	38	4.20%	38	904
9	早良 早良	92	6.81%	92	1,351
10	壱岐南 西	393	11.16%	393	3,523

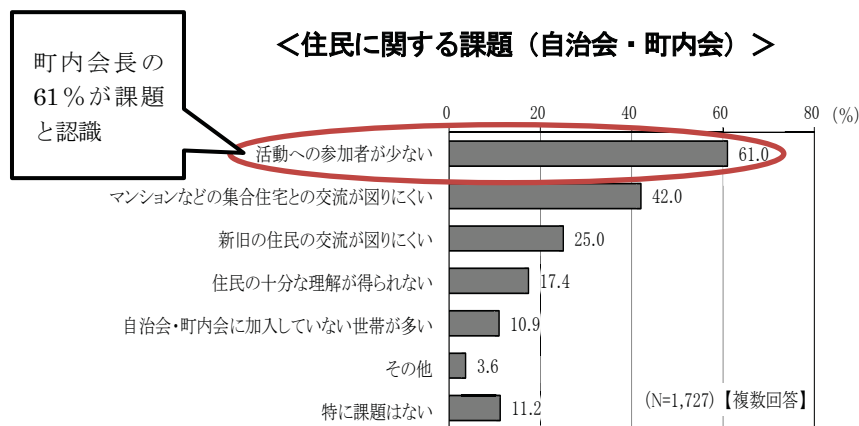
出典：住民基本台帳（日本人人口：平成26年9月現在）[福岡市]

2. 地域コミュニティへの関心等

- ・市民アンケートによると、9割の市民が地域活動や自治会・町内会の重要性を認識しているにもかかわらず、7割の市民が地域活動に参加したことがない。
- ・地域においては、夏祭りや運動会、地域の歴史資源を生かしたイベントなど、様々な楽しい活動が行われているが、学校や企業など、まだ十分に活用されていない資源もある。
- ・地域の重要性を認識している市民が地域活動に参加するきっかけとなるよう、地域の魅力を知り、創り、発信する取組が求められています。



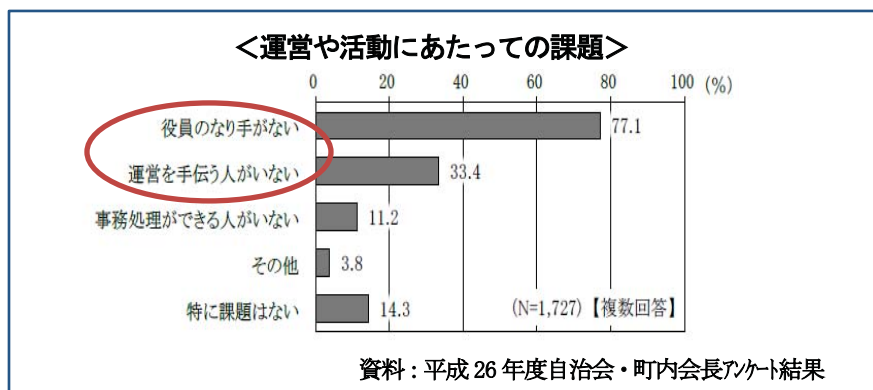
資料：平成26年度市政アンケート調査報告書



資料：平成26年度自治会・町内会長アンケート結果

3. 自治協議会の状況

- ・自治協議会は、校区内で組織されている自治会・町内会の概ね8割以上の団体のほか、交通安全、体育振興、男女共同参画、青少年育成、ごみ減量・リサイクル、献血推進、衛生、自主防災の8つの団体の加入を必須としている。
- ・構成メンバーとして、社会福祉協議会や商店街連合会、民生委員・児童委員協議会、小中学校PTAなどが加入している自治協議会もある。
- ・地域における最大の課題は担い手不足である。
- ・新たな人材が生まれず担い手が固定化し、固定化に伴い負担が大きくなり、次の担い手が生まれにくい、という悪循環に陥っている。
- ・近年、地域課題を解決するビジネスに関心が高まっている
- ・地域においても、ビジネスの力で地域をよくしていくことに関心が向き始めており、地域の新たな担い手として期待が高まっている。
- ・地域の担い手は地域づくりの基盤であり、継続的に新たな担い手に引き継いでいけるしくみが求められている。



4. 地域コミュニティ関連の主な市の動き

※福岡市保健福祉総合計画（現在策定中）の概要 ※参考資料参照

超高齢社会を迎えるにあたり、「持続可能で生活の質の高いまち」を構築し、また、10年後の将来に向けたあるべき姿」を達成するため、今後の筋道を示すもの。

☆施策の方向性

①自立と促進の支援

社会参加活動や健康づくり活動などに取り組めるように、社会全体で支援する

②地域で生活できる仕組みづくり

住民同士が助け合い・支え合い活動に参加できる仕組みづくりを進める

③安全・安心のための社会環境整備

バリアフリー化の推進など、安全・安心な生活を送るための社会環境を整備する

※福岡市避難行動要支援者に関する取組指針（現在策定中）の概要

東日本大震災などの教訓から、平成25年6月に災害対策基本法が改正され、避難行動要支援者名簿の作成が市町村に義務付けられたことから、福岡市は、避難行動要支援者の避難支援を適正かつ円滑に実施するために、国の指針を踏まえ、「福岡市避難行動要支援者に関する取組指針」を策定する。

これにより、市は、避難行動要支援者名簿を作成し、名簿情報の一部を校区自治協議会や校区社会福祉協議会、民生委員・児童委員に提供するもの。

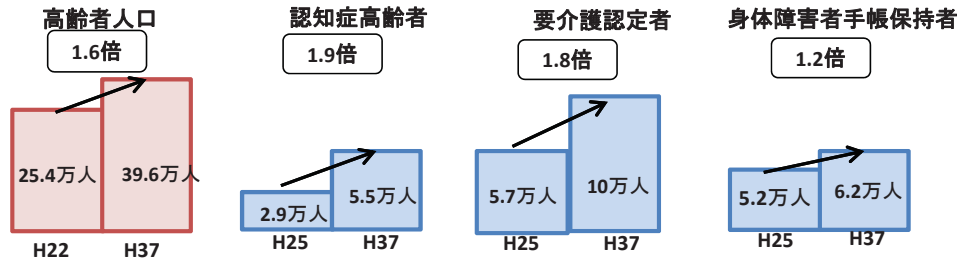
福岡市保健福祉総合計画(原案)のポイント【総論】

福岡市保健福祉総合計画策定の趣旨

超高齢社会を迎えるにあたり、「持続可能で生活の質の高いまち」を構築し、また、「10年後の将来に向けたあるべき姿」を達成するため、今後の道筋を示すもの

- 基本理念:市民が自立し、かつ相互に連携して支え合うという精神のもとに、高齢者や障がいのある人をはじめすべての市民が一人の人間として尊重され、住み慣れた家庭や地域で安心して暮らし続けることができるハード・ソフト両面に調和のとれた健康福祉のまちづくり
- 計画期間:平成28年度～平成32年度

1. 福岡市が迎える主な社会構造の変化



2. 10年後のあるべき姿(2025年を見据えた目標値)

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、病気になったり介護が必要になっても、地域において、医療や介護、生活支援などが一体的に切れ目なく提供される「地域包括ケア」の実現に取り組むとともに、本計画を実行することでめざす姿を「10年後のあるべき姿」として掲げる。

①生涯現役社会

・健康寿命の延伸に取り組み、高齢になっても地域で活躍できる社会

②「地域の力」・「民間の力」が引き出される社会

・地域課題の解決に向けて、地域・民間企業がそれぞれの特色を生かし、社会貢献を行う社会

③福祉におけるアジアのモデルとなる社会

・支援が必要な誰もが安心して暮らしていける社会づくりを進め、アジアの国々のモデルとなる社会

3. 政策転換(新たな発想による政策の推進)

超高齢社会の到来に備え、10年後のあるべき姿を明確化し、その実現に向けた推進施策の方向性を定め、「選択と集中」によって、市民にとって必要度の高い施策へと転換を図るもの。

①施策の進め方の転換

・あるべき姿を定め、その達成の為に、より必要性が高い施策を充実する。

②高齢者の捉え方の転換

・年齢等、一律にはなく個人のちからに着目する。
・65歳以上になってもできる範囲で「支えられる側」から「支える側」へ。

③障がい者の捉え方の転換

・障がいのある人も主体性をもっていきいきと生活し、あらゆる分野の活動に参加する社会の一員と捉える。
・社会が変わることで、障がいのある人もない人も尊重し合う共生社会の実現をめざす。

4. 施策の方向性と推進施策

政策転換により、本計画で取り組む「施策の方向性」を定め、代表的な施策を「推進施策」として掲げる。

施策の方向性

①自立の促進と支援

社会参加活動や健康づくり活動などに取り組めるように、社会全体で支援する

②地域で生活できる仕組みづくり

住民同士が助け合い・支え合い活動に参加できる仕組みづくりを進める

③安全・安心のための社会環境整備

バリアフリー化の推進など、安全・安心な生活を送るための社会環境を整備する

推進施策

- | | |
|----------------|----------------------------|
| ①社会参加活動の支援 | ⑧障がい特性等に配慮した総合的な支援 |
| ②健康づくり・介護予防 | ⑨人材育成 |
| ③相談体制の充実と自立の支援 | ⑩公共施設・公共交通機関の整備 |
| ④権利擁護 | ⑪誰もが住みやすい居住環境の整備 |
| ⑤差別解消 | ⑫ICT(情報通信技術)等の利活用 |
| ⑥地域での支え合い | ⑬医療体制、健康危機管理体制の充実及び生活環境の向上 |
| ⑦認知症への対応 | ⑭持続可能な社会保障制度の維持 |

5. 成果指標

計画全体を一体的に評価していくため、総論の成果指標を設けるとともに、それを上位概念とする各論の成果指標を分野別計画に定める。

なお、進行管理は成果に係る数値データを示し、効果的・効率的な改善につながる評価を行う。

施策の方向性	成果指標(上位概念)	現状値 (平成26年度)	目標値 (平成32年度)
自立の促進と支援	健康寿命の延伸	男性 70.38歳 女性 71.93歳 (平成22年度)	1歳以上延伸
地域で生活できる仕組みづくり	地域での暮らしやすさ (高齢者・地域での支え合いにより、子育て家庭や高齢者が暮らしやすいまちだと感じる市民の割合) (障がい者:障がいのある人が暮らしやすいまちだと感じている市民の割合)	高齢者 37.3% 障がい者 34.3%	高齢者 58% 障がい者 57%
安全・安心のための社会環境整備	安全・安心のための社会環境整備ができていると感じている市民の割合	新設のため現状値なし (平成28年度調査)	上昇

健康・医療分野

【基本目標】

1. 健康づくりの推進
2. 医療環境の整備
3. 健康で安全な暮らしの確保

○認知症・ロコモ予防の重点化

生活習慣の改善から始める認知症・ロコモティブシンドローム(運動器症候群)の予防に関する取組みを、**高齢期前から重点的に実施**することを検討する。
科学的根拠に基づいた**保健指導ツール**などを活用し、50、60歳代の市民の主体的な取組みを促進する。

《保健指導ツールの活用イメージ》



九州大学の久山町研究データを基に開発された生活習慣病発症予測システムを活用し、健診結果を入力すると、将来の糖尿病発症リスク等を表示できる。

○地域や職場での健康づくりの強化

市全体での健康づくりの機運を醸成するため、地域や職場での取組みに対する支援を強化する。

・地域の特性に合わせた健康づくりや健(検)診を受診しやすい環境の整備を進める。

・職場での健康づくりに積極的に取り組む企業や団体を増やすための取組みを検討する。

○在宅医療・介護の連携

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護が一体的に切れ目なく提供される体制づくりを行う。

○感染症対策の推進

感染症の発生及びまん延を防止するため、市民への正しい知識の普及啓発、発生動向等の情報提供の充実を図る。
感染症が発生した場合には、適切な防疫活動を行い、感染拡大の防止に努める。



市全体で「健康づくり」

地域分野

【基本目標】

1. 地域の絆づくり
2. 活動団体への支援と連携
3. 支え合い・助け合い活動の推進
4. 人づくりと拠点づくり
5. 自立した生活のための環境づくり

○絆づくりの推進

「地域カフェ」の拡大など、住民相互の顔の見える関係づくりを推進するとともに、身近で、楽しく、魅力ある活動が行われるよう、**地域団体による様々な活動を支援**する。

○社会福祉法人・NPO・企業等への支援と連携

社会福祉法人が行う地域福祉・社会福祉の向上に向けた活動を支援する。

企業等の地域参加を促進する仕組みを検討するとともに、セミナー等を開催し、**企業と地域など関係者間の出会いや繋ぐ場を提供**する。

○ふれあいサロン・ふれあいネットワークの充実

地域において支援を要する人々に関する情報交換と日常的な見守り活動ができるよう**ふれあいネットワークの拡充や、活動の充実**に向けて、支援の方策を検討する。

ふれあいサロンの拡充や、より効果的な展開に向けて支援の方策を検討する。



ふれあいサロンの様子

○ICT(情報通信技術)の利活用

見守りや認知症施策等に、**地域での支え合い・助け合い活動にICTを取り入れる**など、新たな手法の導入により、効果的・効率的な事業へ向け見直しを図り、活動者の負担軽減を図る。



○ユニバーサルデザインの理念による地域づくり

「福岡市バリアフリー基本計画」にもとづく**公共交通機関等の整備や住宅のバリアフリー化**など、誰もが暮らしやすい環境整備を推進する。

歩道のバリアフリー化等に加え、バス停や公園などで休憩できる、**ベンチ等の設置の拡充**について検討する。



高齢者分野

【基本目標】

1. いきいきとしたシニアライフの実現
2. 安心して暮らせるための生活基盤づくり
3. 認知症施策の推進
4. 介護保険サービスの適切な利用の推進と円滑な制度運営
5. 高齢者総合支援体制づくり

意欲や能力に応じて「支える側」として活躍する人を応援する持続可能な制度や仕組みの創設や「配る福祉」から「支える福祉」に向け、既存施策の再構築

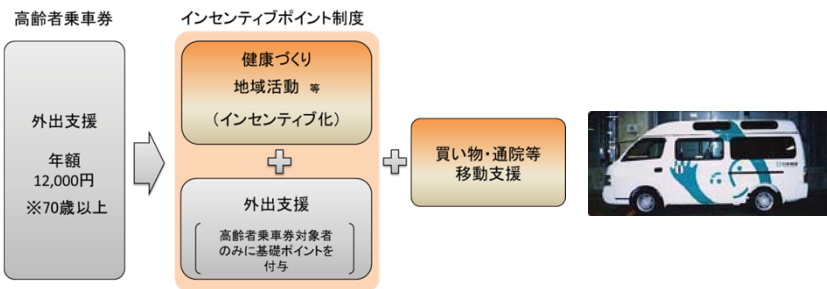
○健康づくり等のインセンティブポイント制度の検討

健康づくりや地域活動への参加促進に向け、**高齢者一人ひとりの取組みや、地域における取組みを応援**するインセンティブ制度の創設について検討する。

○高齢者・障がい者の移動支援に取り組む地域団体等への車両貸出などの検討

買い物や通院が困難な高齢者に対して、**地域での取組みを応援**するなどの新たな移動支援策の実施を検討する。

～再構築のポイント～



○老人福祉センターの機能転換の検討

健康づくり・介護予防や創業・就業など、シニアの積極的な活動支援に向けた機能転換を検討する。

○認知症の初期集中支援

認知症が疑われる人の自宅を訪問し、初期の支援を包括的・集中的に行い、適切な医療・介護サービスに繋げていく体制をつくる。

○介護人材の確保

合同就職面談会や技術研修を開催するなど、介護人材の就労を支援する事業や事業所への定着を支援する取組みを進めるとともに、介護人材のすそ野を拡げるための取組みを検討する。

障がい者分野

【基本目標】

1. 地域で安心して生活するための支援の充実
2. 就労支援・社会参加支援の充実
3. 障がいに対する理解の促進
4. 権利擁護の推進
5. 差別解消のための施策の推進
6. 障がいのある子どもへの支援の充実

○高齢障がい者及び「親なき後」の地域での生活を見据えた総合的な支援

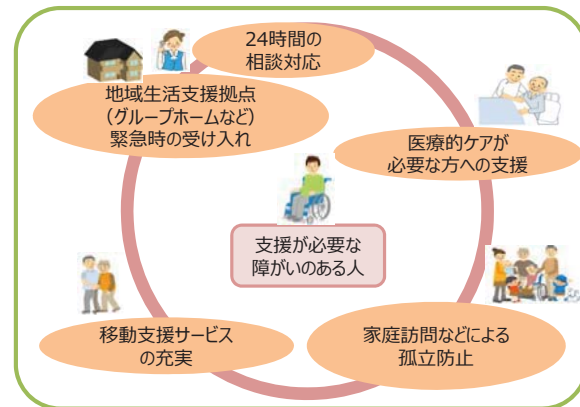
障がい者関係団体等からの切実な声を受け、**障がいの重度化、高齢化や、「親なき後」の生活の安心も見据えた総合的な支援**を検討する。

・24時間対応の相談、緊急時預かり等の拠点を各区に整備

・家庭訪問等、見守り体制を検討

・短期入所へのヘルパー同行など医療的ケアが必要な重度障がい者への支援の充実

・グループホーム、在宅サービス、外出・移動などの支援の充実



○社会参加支援の充実

障がいのある人が、**必要な支援を受けながら様々な分野の活動に参加**できるよう、**障がい特性に配慮した支援や移動支援施策を推進**し、社会参加を促進する。

・発達障がい児・者への支援の構築
ライフステージを通した一貫した支援を構築し、発達障がい者の引きこもり、行動障がいなど(二次障がい)の防止と社会参加を促進

・就労支援の充実
企業と密に連絡を取り合い、信頼性を高めることで、職場実習の受入先を拡大

・移動支援施策の推進・再構築
障害者総合支援法に基づく「移動支援サービス」の内容の充実や、公共交通機関料金助成(福祉乗車券・福祉乗車証)などの制度のあり方を検証し、わかりやすく使いやすい制度へ再編



■ I 魅力づくり

[主な事業等の状況]

主な事業等	事業等の実績																								
(1) 自分の地域やコミュニティ活動への関心を高める																									
<p>ア 「自治協議会サミット」の開催</p>	<p>・「第3回福岡市自治協議会サミット」を、福岡市自治協議会等7区会長会との共催により開催 <開催日時> 平成26年8月26日(土) 13:30~14:30 <会場> ももちパレス 大ホール <参加人数> 約750人(自治協議会関係者、市民など) <内容></p> <p>■ 活動事例発表</p> <table border="1" data-bbox="491 577 1401 1075"> <thead> <tr> <th>区</th> <th>団体名</th> <th>発表テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東</td> <td>青葉校区自治連合協議会</td> <td>安全安心のまちづくり</td> </tr> <tr> <td>博多</td> <td>吉塚校区自治協議会</td> <td>防犯で住よいまち 吉塚</td> </tr> <tr> <td>中央</td> <td>草ヶ江校区自治協議会</td> <td>人材育成 -新任町内会長向けの研修の実施と引き継ぎ資料の作成-</td> </tr> <tr> <td>南</td> <td>西高宮校区自治連合会</td> <td>地域のシンボルづくり -世代を超えた地域住民が参加できる新しい祭りの創設-</td> </tr> <tr> <td>城南</td> <td>城南校区自治協議会</td> <td>出会い ふれあい 助け合い 明るいわが町 わが校区</td> </tr> <tr> <td>早良</td> <td>野芥校区自治協議会</td> <td>住んでよかったそんな街に</td> </tr> <tr> <td>西</td> <td>北崎校区自治協議会</td> <td>北崎の魅力とまちづくり活動 ～北崎を考える会～</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 意見交換・質疑 コーディネーター：十時 裕(福岡市地域活動アドバイザー) コメンテーター：福岡市自治協議会等7区会長会代表 石川 孝治 平山 清子 福岡市 東区長 日下部 修</p> <p>事例発表者 : 7名</p>	区	団体名	発表テーマ	東	青葉校区自治連合協議会	安全安心のまちづくり	博多	吉塚校区自治協議会	防犯で住よいまち 吉塚	中央	草ヶ江校区自治協議会	人材育成 -新任町内会長向けの研修の実施と引き継ぎ資料の作成-	南	西高宮校区自治連合会	地域のシンボルづくり -世代を超えた地域住民が参加できる新しい祭りの創設-	城南	城南校区自治協議会	出会い ふれあい 助け合い 明るいわが町 わが校区	早良	野芥校区自治協議会	住んでよかったそんな街に	西	北崎校区自治協議会	北崎の魅力とまちづくり活動 ～北崎を考える会～
区	団体名	発表テーマ																							
東	青葉校区自治連合協議会	安全安心のまちづくり																							
博多	吉塚校区自治協議会	防犯で住よいまち 吉塚																							
中央	草ヶ江校区自治協議会	人材育成 -新任町内会長向けの研修の実施と引き継ぎ資料の作成-																							
南	西高宮校区自治連合会	地域のシンボルづくり -世代を超えた地域住民が参加できる新しい祭りの創設-																							
城南	城南校区自治協議会	出会い ふれあい 助け合い 明るいわが町 わが校区																							
早良	野芥校区自治協議会	住んでよかったそんな街に																							
西	北崎校区自治協議会	北崎の魅力とまちづくり活動 ～北崎を考える会～																							
<p>イ 「コミュニティ通信」を通じた地域情報の発信</p>	<p>・「コミュニティ通信」(21年10月創刊)を発行した <26年度発行実績> 4/1号、7/1号、10/1号、1/1号 ※年4回発行 <発行部数> 毎号45,000部(自治協議会等を通じ、地域で回覧) <掲載内容></p> <p>■ 4/1号(第19号) ～テーマ 地域活動～ 校区の特色ある活動事例(8校区)</p> <table border="1" data-bbox="470 1668 1484 2020"> <thead> <tr> <th>団体</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東区箱崎校区</td> <td>伝統行事・文化を次の世代に継承する「箱崎文化保存会」の活動を紹介</td> </tr> <tr> <td>博多区板付・板付北校区</td> <td>地域を流れる河川を自分たちで守っていく活動を紹介</td> </tr> <tr> <td>中央区草ヶ江校区</td> <td>校区独自の「草ヶ江“笑顔”音頭に関する取り組みを紹介</td> </tr> <tr> <td>南区西長住校区</td> <td>三世代交流事業の「アーリーモーニング・ハイク」の活動を紹介</td> </tr> <tr> <td>城南区田島校区</td> <td>公民館移転30年を記念して制作された「校区の歌」について紹介</td> </tr> <tr> <td>早良区飯倉校区</td> <td>子ども育成団体を再編した「飯倉校区子ども部会」の活動について紹介</td> </tr> <tr> <td>西区金武校区</td> <td>「金武の子は金武の宝」の考えのもと、地域の共育(ともいく)の取り組みについて紹介</td> </tr> </tbody> </table>	団体	内容	東区箱崎校区	伝統行事・文化を次の世代に継承する「箱崎文化保存会」の活動を紹介	博多区板付・板付北校区	地域を流れる河川を自分たちで守っていく活動を紹介	中央区草ヶ江校区	校区独自の「草ヶ江“笑顔”音頭に関する取り組みを紹介	南区西長住校区	三世代交流事業の「アーリーモーニング・ハイク」の活動を紹介	城南区田島校区	公民館移転30年を記念して制作された「校区の歌」について紹介	早良区飯倉校区	子ども育成団体を再編した「飯倉校区子ども部会」の活動について紹介	西区金武校区	「金武の子は金武の宝」の考えのもと、地域の共育(ともいく)の取り組みについて紹介								
団体	内容																								
東区箱崎校区	伝統行事・文化を次の世代に継承する「箱崎文化保存会」の活動を紹介																								
博多区板付・板付北校区	地域を流れる河川を自分たちで守っていく活動を紹介																								
中央区草ヶ江校区	校区独自の「草ヶ江“笑顔”音頭に関する取り組みを紹介																								
南区西長住校区	三世代交流事業の「アーリーモーニング・ハイク」の活動を紹介																								
城南区田島校区	公民館移転30年を記念して制作された「校区の歌」について紹介																								
早良区飯倉校区	子ども育成団体を再編した「飯倉校区子ども部会」の活動について紹介																								
西区金武校区	「金武の子は金武の宝」の考えのもと、地域の共育(ともいく)の取り組みについて紹介																								

主な事業等	事業等の実績																																								
<p>イ 「コミュニティ通信」を通じた地域情報の発信（つづき）</p>	<p>■ 7/1号（第20号） ～テーマ 交流～ 校区の特色ある活動事例（5校区）</p> <table border="1" data-bbox="472 255 1474 517"> <thead> <tr> <th>団体</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東区和白東校区</td> <td>姉妹都市のオークランド市との文化交流について紹介</td> </tr> <tr> <td>博多区那珂南校区</td> <td>台湾の後龍（ホウロン）国民小学校との交流について紹介</td> </tr> <tr> <td>南区宮竹校区</td> <td>校区内にある学生寮の大学生との交流について紹介</td> </tr> <tr> <td>城南区堤校区</td> <td>知的障がい者通所更生施設「葦の家」との交流について紹介</td> </tr> <tr> <td>早良区区百道校区</td> <td>三世代の交流を目的とした「三世代交流餅つき大会」について紹介</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 10/1号（第21号） ～テーマ スポーツ～ 校区の特色ある活動事例（6校区）</p> <table border="1" data-bbox="472 602 1474 907"> <thead> <tr> <th>団体</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東区香椎下原校区</td> <td>ねんりんクラブ連合会による親善交流大会について紹介</td> </tr> <tr> <td>博多区冷泉地区</td> <td>三世代がラジオ体操を通じて交流を深める活動について紹介</td> </tr> <tr> <td>中央区舞鶴地区</td> <td>小学生から高齢者までが参加する「スポーツフェスタ」について紹介</td> </tr> <tr> <td>南区三宅校区</td> <td>小学4～6年生を対象に地域の大人が指導する「わくわくスポーツ塾」について紹介</td> </tr> <tr> <td>城南区6中学校区</td> <td>区内の中学校ブロック対抗の交流大会について紹介</td> </tr> <tr> <td>西区壱岐東校区</td> <td>スポーツを通じて校区の活性化に取り組む活動について紹介</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 1/1号（第22号） ～テーマ：男女共同参画～ 校区の特色ある活動事例（6校区）</p> <table border="1" data-bbox="472 992 1474 1296"> <thead> <tr> <th>団体</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東区香椎校区</td> <td>老若男女が楽しく関われる祭りを目指して開催されている「香椎灯明まつり」について紹介</td> </tr> <tr> <td>中央区警固校区</td> <td>校区在住の10～70歳代の男性とのワークショップ等の取組みについて紹介</td> </tr> <tr> <td>南区東花畑校区</td> <td>ワールドカフェ方式での男女の意見交換などの取組みについて紹介</td> </tr> <tr> <td>城南区男女共同参画連絡会</td> <td>城南区の地域振興イベントの「ふれあい城南フェスティバル」について紹介</td> </tr> <tr> <td>早良区高取校区</td> <td>校区男女共同参画協議会の活動について紹介</td> </tr> <tr> <td>西区壱岐校区</td> <td>男女共同参画の会が中心となって作った「壱岐いき音頭」について紹介</td> </tr> </tbody> </table>	団体	内容	東区和白東校区	姉妹都市のオークランド市との文化交流について紹介	博多区那珂南校区	台湾の後龍（ホウロン）国民小学校との交流について紹介	南区宮竹校区	校区内にある学生寮の大学生との交流について紹介	城南区堤校区	知的障がい者通所更生施設「葦の家」との交流について紹介	早良区区百道校区	三世代の交流を目的とした「三世代交流餅つき大会」について紹介	団体	内容	東区香椎下原校区	ねんりんクラブ連合会による親善交流大会について紹介	博多区冷泉地区	三世代がラジオ体操を通じて交流を深める活動について紹介	中央区舞鶴地区	小学生から高齢者までが参加する「スポーツフェスタ」について紹介	南区三宅校区	小学4～6年生を対象に地域の大人が指導する「わくわくスポーツ塾」について紹介	城南区6中学校区	区内の中学校ブロック対抗の交流大会について紹介	西区壱岐東校区	スポーツを通じて校区の活性化に取り組む活動について紹介	団体	内容	東区香椎校区	老若男女が楽しく関われる祭りを目指して開催されている「香椎灯明まつり」について紹介	中央区警固校区	校区在住の10～70歳代の男性とのワークショップ等の取組みについて紹介	南区東花畑校区	ワールドカフェ方式での男女の意見交換などの取組みについて紹介	城南区男女共同参画連絡会	城南区の地域振興イベントの「ふれあい城南フェスティバル」について紹介	早良区高取校区	校区男女共同参画協議会の活動について紹介	西区壱岐校区	男女共同参画の会が中心となって作った「壱岐いき音頭」について紹介
団体	内容																																								
東区和白東校区	姉妹都市のオークランド市との文化交流について紹介																																								
博多区那珂南校区	台湾の後龍（ホウロン）国民小学校との交流について紹介																																								
南区宮竹校区	校区内にある学生寮の大学生との交流について紹介																																								
城南区堤校区	知的障がい者通所更生施設「葦の家」との交流について紹介																																								
早良区区百道校区	三世代の交流を目的とした「三世代交流餅つき大会」について紹介																																								
団体	内容																																								
東区香椎下原校区	ねんりんクラブ連合会による親善交流大会について紹介																																								
博多区冷泉地区	三世代がラジオ体操を通じて交流を深める活動について紹介																																								
中央区舞鶴地区	小学生から高齢者までが参加する「スポーツフェスタ」について紹介																																								
南区三宅校区	小学4～6年生を対象に地域の大人が指導する「わくわくスポーツ塾」について紹介																																								
城南区6中学校区	区内の中学校ブロック対抗の交流大会について紹介																																								
西区壱岐東校区	スポーツを通じて校区の活性化に取り組む活動について紹介																																								
団体	内容																																								
東区香椎校区	老若男女が楽しく関われる祭りを目指して開催されている「香椎灯明まつり」について紹介																																								
中央区警固校区	校区在住の10～70歳代の男性とのワークショップ等の取組みについて紹介																																								
南区東花畑校区	ワールドカフェ方式での男女の意見交換などの取組みについて紹介																																								
城南区男女共同参画連絡会	城南区の地域振興イベントの「ふれあい城南フェスティバル」について紹介																																								
早良区高取校区	校区男女共同参画協議会の活動について紹介																																								
西区壱岐校区	男女共同参画の会が中心となって作った「壱岐いき音頭」について紹介																																								
<p>ウ 「ふくおか市政だより」への記事掲載</p>	<p>・各区の情報を掲載する「区版」を中心に、コミュニティの活動や取り組みを紹介する記事を掲載している</p> <p>【全市版】 6/15, 7/15, 10/1 【東】 6/15, 7/15, 10/1 【博多】 4/15, 6/1, 6/15, 7/15, 8/15, 12/1 【中央】 6/15, 7/1, 8/15, 9/15, 10/1, 10/15, 11/15, 12/15, 1/1, 2/1, 2/15, 3/1 【南】 4/1, 5/1, 7/15, 8/1, 8/15, 9/1, 9/15, 11/15, 12/1, 2/1, 2/15, 3/1 【城南】 4/15, 5/15, 6/15, 7/15, 8/15, 9/15, 10/15, 11/15, 12/15, 2/15, 3/15 【早良】 4/1, 4/15, 6/15, 7/1, 7/15, 9/1, 10/1, 10/15, 11/15, 12/1, 1/1, 2/15, 3/1 【西】 4/15, 6/1, 8/1, 8/15, 9/15, 10/1, 2/1, 3/15</p>																																								
<p>エ 市ホームページの充実</p>	<p>・市ホームページに次の事柄を掲載し、情報を発信している</p> <ul style="list-style-type: none"> － 「コミュニティ通信」（4/1号、7/1号、10/1号、1/1号） － 「コミュニティの自治の確立」「コミュニティと市の共働」に向けた取り組みの実施状況 <p>・ 区ホームページで、自治協議会の活動紹介や公民館の紹介などを行っている</p>																																								

主な事業等	事業等の実績										
オ コミュニティが行う広報活動の支援	<p>【広報講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各区において、次の講座を実施している <table border="1" data-bbox="416 255 1390 367"> <thead> <tr> <th>区</th> <th>事業内容</th> <th>対象</th> <th>実施時期</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>城南</td> <td>自治協議会等広報講座</td> <td>広報担当者</td> <td>6/17, 6/24</td> <td>53人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【まちづくりICT活用支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治協議会等の希望に応じて、インターネット等を用いた地域情報の発信の支援を行っている〔H22.4月～〕 ーブログを活用した情報発信の支援、運営方法に関する講座を実施 ーポータルサイト「Fukuコミュ」での紹介 ーケーブルテレビ番組を利用して上記活動を紹介 	区	事業内容	対象	実施時期	参加人数	城南	自治協議会等広報講座	広報担当者	6/17, 6/24	53人
区	事業内容	対象	実施時期	参加人数							
城南	自治協議会等広報講座	広報担当者	6/17, 6/24	53人							
カ 「地域デビュー応援事業」による自治会・町内会への支援	再掲 II-(1)ア										

(2) 幅広い多くの地域住民の参加

ア ボランティア体験事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」の相談事業として、ボランティア活動に興味がある一般市民、学生、社会人などに、それぞれのニーズに合わせた体験活動プログラムを提供する「ボランティア体験事業」を実施している〔H24.4月～〕 <p> <26年度体験プログラム数> 33 <26年度体験人数> 170人 </p>																				
イ ボランティアに興味がある市民への情報提供	<p>【「あすみん」を通じた情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の全公民館にNPO・ボランティア活動に関するメールマガジンを配信している（月2回） ・NPO・ボランティア交流センター「あすみん」内に、「市政だより」や各校区の「公民館だより」に掲載されているボランティア情報を掲示している ・ボランティアに興味・関心を持つ市民を対象に「ボランティア入門講座」を実施した〔5月に合計2回実施〕 <p>【研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区において、自治協議会や公民館が連携して実施する次の講座等を支援した <table border="1" data-bbox="443 1626 1469 2040"> <thead> <tr> <th>区</th> <th>事業内容</th> <th>対象</th> <th>実施時期</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>城南</td> <td>大学生への地域活動ガイダンス</td> <td>福岡大学・中村学園大学学生、自治協議会（七隈校区）</td> <td>5/24</td> <td>63人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>福岡大学・中村大学学生、自治協議会</td> <td>12/21</td> <td>98人</td> </tr> <tr> <td>城南</td> <td>P T A活動者の地域活動研修</td> <td>小・中 P T A 役員等、自治協議会（七隈校区） 小 P T A 役員等、自治協議会（長尾校区）</td> <td>6/28</td> <td>61人</td> </tr> </tbody> </table>	区	事業内容	対象	実施時期	参加人数	城南	大学生への地域活動ガイダンス	福岡大学・中村学園大学学生、自治協議会（七隈校区）	5/24	63人			福岡大学・中村大学学生、自治協議会	12/21	98人	城南	P T A活動者の地域活動研修	小・中 P T A 役員等、自治協議会（七隈校区） 小 P T A 役員等、自治協議会（長尾校区）	6/28	61人
区	事業内容	対象	実施時期	参加人数																	
城南	大学生への地域活動ガイダンス	福岡大学・中村学園大学学生、自治協議会（七隈校区）	5/24	63人																	
		福岡大学・中村大学学生、自治協議会	12/21	98人																	
城南	P T A活動者の地域活動研修	小・中 P T A 役員等、自治協議会（七隈校区） 小 P T A 役員等、自治協議会（長尾校区）	6/28	61人																	

主な事業等	事業等の実績	
ウ 「地域デビュー応援事業」による自治会・町内会への支援		再掲 II-(1) ア
エ 公民館事業を通じた人事発掘・育成		再掲 IV-(1) ア
(3) 校区・地区の実情・特色に応じたコミュニティ活動や運営		
ア 「活力あるまちづくり支援事業補助金」による支援	・自治協議会が主体的に活用できる補助金（人口に応じ5区分、230-370万円）を申請に応じて交付している〔147自治協議会に交付〕	
イ 「自治協議会サミット」の開催		再掲 I-(1) ア

主な事業等	事業等の実績																																												
(1) 顔の見える関係づくり																																													
<p>ア 「地域デビュー応援事業」による自治会・町内会への支援</p>	<p>・自治会・町内会が行う、幅広い世代の住民が気軽に楽しく参加し、交流できるような工夫をこらした新たな取組みを支援している</p> <p>【補助金額】 本事業による補助金の交付は、1団体につき1事業のみとし、3年を限度とする。補助金の額は次の表の事業区分に応じ算定した額とする。</p> <table border="1" data-bbox="512 539 1406 719"> <thead> <tr> <th>事業区分</th> <th colspan="2">補助率</th> <th>補助金の限度額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">新規事業</td> <td>1年目</td> <td>5分の4以内</td> <td>100,000円</td> </tr> <tr> <td>2・3年目</td> <td>2分の1以内</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td>リニューアル事業</td> <td>1～3年目</td> <td>2分の1以内</td> <td>50,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【26年度交付実績】 新規事業 117件、リニューアル事業 81件 合計198件</p>	事業区分	補助率		補助金の限度額	新規事業	1年目	5分の4以内	100,000円	2・3年目	2分の1以内	50,000円	リニューアル事業	1～3年目	2分の1以内	50,000円																													
事業区分	補助率		補助金の限度額																																										
新規事業	1年目	5分の4以内	100,000円																																										
	2・3年目	2分の1以内	50,000円																																										
リニューアル事業	1～3年目	2分の1以内	50,000円																																										
<p>イ 自治協議会と連携して実施する等による自治会・町内会向けの研修会等の開催</p>	<p>【自治会・町内会長研修】</p> <table border="1" data-bbox="406 958 1417 1525"> <thead> <tr> <th>区</th> <th>事業内容</th> <th>対象</th> <th>実施時期</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">東</td> <td rowspan="3">自治会長研修</td> <td>自治会長(青葉校区)</td> <td>4/25</td> <td rowspan="3">41人</td> </tr> <tr> <td>自治会長(多々良校区)</td> <td>5/7</td> </tr> <tr> <td>自治会長(和白校区)</td> <td>7/5</td> </tr> <tr> <td>博多</td> <td>自治会長・町内会長研修会</td> <td>自治会・町内会長等</td> <td>9/6</td> <td>79人</td> </tr> <tr> <td>中央</td> <td>自治会・町内会長交流会</td> <td>自治会・町内会長等</td> <td>2/27</td> <td>42人</td> </tr> <tr> <td>南</td> <td>新任自治会・町内会長研修</td> <td>新任自治会長・町内会長</td> <td>6/10, 6/19</td> <td>63人</td> </tr> <tr> <td>城南</td> <td>新任自治会・町内会長研修</td> <td>新任自治会長・町内会長</td> <td>9/25</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>早良</td> <td>自治会・町内会役員研修</td> <td>自治協議会、自治会・町内会の役員</td> <td>8/28</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td>西</td> <td>自治会・町内会新任役員研修</td> <td>新任自治会・町内会長等</td> <td>5/23</td> <td>132人</td> </tr> </tbody> </table>	区	事業内容	対象	実施時期	参加人数	東	自治会長研修	自治会長(青葉校区)	4/25	41人	自治会長(多々良校区)	5/7	自治会長(和白校区)	7/5	博多	自治会長・町内会長研修会	自治会・町内会長等	9/6	79人	中央	自治会・町内会長交流会	自治会・町内会長等	2/27	42人	南	新任自治会・町内会長研修	新任自治会長・町内会長	6/10, 6/19	63人	城南	新任自治会・町内会長研修	新任自治会長・町内会長	9/25	40人	早良	自治会・町内会役員研修	自治協議会、自治会・町内会の役員	8/28	51人	西	自治会・町内会新任役員研修	新任自治会・町内会長等	5/23	132人
区	事業内容	対象	実施時期	参加人数																																									
東	自治会長研修	自治会長(青葉校区)	4/25	41人																																									
		自治会長(多々良校区)	5/7																																										
		自治会長(和白校区)	7/5																																										
博多	自治会長・町内会長研修会	自治会・町内会長等	9/6	79人																																									
中央	自治会・町内会長交流会	自治会・町内会長等	2/27	42人																																									
南	新任自治会・町内会長研修	新任自治会長・町内会長	6/10, 6/19	63人																																									
城南	新任自治会・町内会長研修	新任自治会長・町内会長	9/25	40人																																									
早良	自治会・町内会役員研修	自治協議会、自治会・町内会の役員	8/28	51人																																									
西	自治会・町内会新任役員研修	新任自治会・町内会長等	5/23	132人																																									
<p>ウ 自治会・町内会の法人認可(地縁団体認可)</p>	<p>・自治会・町内会等の地縁による団体について、申請に応じ、法人として認可している [随時] <26年度認可数> 4件 ※ 制度発足(H13)からの法人認可数：341件</p>																																												
<p>エ 市民向けPRチラシの作成・配布</p>	<p>・コミュニティの大切さや取組みを紹介し、市民の理解を求めるチラシを作成し、配布を行っている [H22.3月～] <配布方法> 区役所市民課窓口にて、市外からの転入者に配布</p> <p>・自治会・町内会自らが、転入者や未加入者に対し自治組織の意義や重要性についてPRすることができ、自治会の名称や連絡先を記載できるチラシを配布 [H25.3月～]</p>																																												

主な事業等	事業等の実績
オ 「自治会活動ハンドブック」の作成、配布	事業完了 〔平成 22 年 3 月に「自治会活動ハンドブック-第 2 次改訂版-」及びパンフレット「住みよいまちをみんなでつくろう！」を発行〕 ※ 区によっては、このハンドブックを活用した研修会を実施 ※ 平成 22 年度には姉妹編として、「自治会長の知恵袋」（実際の活動現場で生まれたアイデアやノウハウ、先進的な取り組みを、運営や活動の場面ごとにまとめた事例集）を作成
カ 集合住宅入居者の自治会・町内会加入の促進	再掲Ⅱ-（2）ア

(2) 集合住宅入居者の地域との関わり

ア 集合住宅入居者の自治会・町内会加入の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・UR都市機構「福岡営業センター」にて、入居契約者に対する自治活動参加促進チラシの配布、「コミュニティ通信」のセンターでの備え付けを依頼した。 ・区において、次の取り組みを行った。 <table border="1" data-bbox="405 824 1398 1205"> <thead> <tr> <th data-bbox="405 824 469 880">区</th> <th data-bbox="469 824 834 880">事業内容</th> <th data-bbox="834 824 1062 880">対象</th> <th data-bbox="1062 824 1243 880">実施時期</th> <th data-bbox="1243 824 1398 880">参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="405 880 469 1014"></td> <td data-bbox="469 880 834 1014"> 下記、西区コミュニティ活動推進協定に基づく三者による情報交換会議 </td> <td data-bbox="834 880 1062 1014"> 西区自治協議会会長会役員 </td> <td data-bbox="1062 880 1243 1014"> 2/18 </td> <td data-bbox="1243 880 1398 1014"> 24 人 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="405 1014 469 1205"> 西 </td> <td colspan="4" data-bbox="469 1014 1398 1205"> 西区コミュニティ推進協定締結（平成 25 年 11 月 9 日） ※西区自治協議会会長会、（公社）福岡県宅地建物取引業協会福岡西支部、西区役所の三者で校区自治協議会並びに自治会・町内会が取り組む安全・安心で明るく住みよいまちづくり活動に対し、連携して取り組んでいく旨の協定を締結 </td> </tr> </tbody> </table>	区	事業内容	対象	実施時期	参加人数		下記、西区コミュニティ活動推進協定に基づく三者による情報交換会議	西区自治協議会会長会役員	2/18	24 人	西	西区コミュニティ推進協定締結（平成 25 年 11 月 9 日） ※西区自治協議会会長会、（公社）福岡県宅地建物取引業協会福岡西支部、西区役所の三者で校区自治協議会並びに自治会・町内会が取り組む安全・安心で明るく住みよいまちづくり活動に対し、連携して取り組んでいく旨の協定を締結			
区	事業内容	対象	実施時期	参加人数												
	下記、西区コミュニティ活動推進協定に基づく三者による情報交換会議	西区自治協議会会長会役員	2/18	24 人												
西	西区コミュニティ推進協定締結（平成 25 年 11 月 9 日） ※西区自治協議会会長会、（公社）福岡県宅地建物取引業協会福岡西支部、西区役所の三者で校区自治協議会並びに自治会・町内会が取り組む安全・安心で明るく住みよいまちづくり活動に対し、連携して取り組んでいく旨の協定を締結															
イ 市民向けPRチラシの作成・配布	再掲Ⅱ-（1）エ															

(3) 地域の各種団体間等の連携強化

ア 活力あるまちづくり支援事業補助金の交付	再掲Ⅰ-（3）ア
-----------------------	----------

■Ⅲ 担い手づくり

[主な事業等の状況]

主な事業等	事業等の実績				
(1) 地域活動への参加者を増やす					
ア 自治協議会活動の活性化に向けた研修会等の開催や勉強会への協力	【事例発表会・シンポジウム等】				
	区	事業内容	対象	実施時期	参加人数
	早良	地域コミュニティ推進交流会（情報交換会）	自治協議会会長、公民館職員、区職員	12/1	70人
	西	コミュニティ推進講演会	自治協議会会長、公民館職員、区職員等	12/6	130人
	【自治協議会実務者研修】				
	区	事業内容	対象	実施時期	参加人数
	東	自治協議会実務者研修	自治協議会役員及び各種団体役員	5/22（八田校区） 7/4（舞松原校区） 7/4（菅松校区） 5/20（青葉校区）	94人
	南	自治協議会会計担当者研修	自治協議会会計担当者 藤	6/10, 6/19	27人
	城南	自治協議会等会計担当者研修（会計処理等に関する実務担当者研修）	自治協議会会計担当者等	5/28（別府校区） 5/30（堤地区） 6/14（七隈校区） 7/28（全校区） 12/15（田島校区） 2/9（堤丘校区）	139人
	西	自治協議会実務研修 テーマ別の意見交換会（ワールドカフェ）	自治協議会会長、副会長、会計担当者等	9/25	56人
【リーダー養成講座】					
区	事業内容	対象	実施時期	参加人数	
南	個人情報保護制度に関して	校区自治協議会代表者	7/18	45人	
城南	地域リーダー養成講座	地域リーダー養成講座（堤地区）	5/10	87人	
【その他】					
区	事業内容	対象	実施時期	参加人数	
博多	「博多区魅力あるコミュニティづくり」研修会	自治協議会の会長・副会長・会計等	1/24	58人	
<p>・中央区において、「キラリ校区支援事業」を実施 校区を対象として、地域課題の抽出、解決策の検討などの取り組みを支援。 26年度は、地域の自主防災力の向上を図るための研修会として、防災士で構成する「博多あん・あんリーダー会」の会員をアドバイザーとして、大災害時を想定した災害図上訓練（DIG）を警固校区で実施した。</p>					

主な事業等	事業等の実績	
イ 自治協議会等 会長への感謝状 の贈呈	<ul style="list-style-type: none"> ・自治貢献者に対し、市長から感謝状を贈呈した 〈対象者〉 自治協議会会長退任者 〈贈呈人数〉 贈呈人数 51人 〈贈呈式〉 平成26年8月26日 ※「第3回福岡市自治協議会サミット」の中で実施 	
ウ 「自治活動ハンドブック」の作成、配布		再掲Ⅱ-（1）オ
エ 「地域デビュー応援事業」による自治会・町内会への支援		再掲Ⅱ-（1）ア
オ 自治協議会と連携して実施する等による自治会・町内会向けの研修会等の開催		再掲Ⅱ-（1）イ
(2) 地域役員等の担い手づくり		
ア コミュニティ への協力依頼 の整理・削減	<p>【全局・区・室での取り組み推進】</p> <p>〈25年度までの取り組み〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・21年度から見直しに本格着手し、推進本部を中心に全庁的な見直しを推進してきたが、十分な取り組みがなされていなかった。 ・そこで、平成22年度に、推進本部の中で取り組み方針を改めて確認し、全局・区・室において、再度、協力依頼の見直しに向けた検討作業を実施した上で、着実に見直しを実行するよう周知徹底を図った。 ・推進本部において、引き続き着実に見直しを実行するよう、取り組み内容の周知徹底を図った。 	
イ 公民館事業を通じた人材発掘・育成		再掲Ⅳ-（1）ア
ウ 自治協議会と連携して実施する等による自治会・町内会向けの研修会等の開催		再掲Ⅱ-（1）イ
エ 自治協議会活動の活性化に向けた研修会等の開催や勉強会への協力		再掲Ⅲ-（1）ア
オ 「自治協議会サミット」の開催		再掲Ⅰ-（1）ア
カ 自治協議会等会長への感謝状の贈呈		再掲Ⅲ-（1）イ
キ 活力あるまちづくり支援事業補助金の交付		再掲Ⅰ-（3）ア

■IV 全体を通じた取組

[主な事業等の状況]

主な事業等	事業等の実績															
(1) 公民館の取組																
<p>ア 公民館事業を通じた人材発掘・育成</p>	<p>【公民館地域人材発掘・育成支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団塊の世代や地域ボランティアに関心を持つ人など、地域における多様な人材のコミュニティデビューを促す事業を地域と連携して実施し、活動の担い手づくりを通じて、コミュニティの活性化を図ることを目的に実施〔H24.4月～〕 <p>【自治会コミュニティ応援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位自治会では、様々な悩みを抱え、一人で負担を感じている自治会長も増えてきていることから、公民館が、自治会・町内会長同士や公民館長等との交流を図り、地域課題や課題解決の成功事例等を共有し、解決策を見出す機会となる事業を実施することにより、地域コミュニティ活動の支援を推進することを目的に実施 															
<p>イ 自治協議会等との連携による効果的・効率的な事業の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館運営懇話会（地域団体の代表者等で構成）を通し、地域の課題の把握に努めている ・公民館と区の連携を強化し、さまざまな地域課題に応じた学習機会の提供に努めている ・地域との情報共有や役割分担などにより、地域が自主的・主体的に行う事業と公民館事業の重複を避け、効果的な事業実施を図っている ・区においては、研修会などを公民館長と自治協議会会長が合同で実施するなど、地域課題などを把握する工夫を行っている ・区において、次の取り組みを行った <table border="1" data-bbox="466 1169 1417 1458"> <thead> <tr> <th>区</th> <th>事業内容</th> <th>対象</th> <th>実施時期</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南</td> <td>南区自治組織協議会・公民館長会合同研修「生まれ変わろう 公民館・自治協議会」</td> <td>校区自治協議会代表者、公民館長、区職員等</td> <td>1/23</td> <td>62人</td> </tr> <tr> <td>早良</td> <td>地域コミュニティ推進交流会（情報交換会）</td> <td>自治協議会会長、公民館職員、区職員</td> <td>12/1</td> <td>70人</td> </tr> </tbody> </table>	区	事業内容	対象	実施時期	参加人数	南	南区自治組織協議会・公民館長会合同研修「生まれ変わろう 公民館・自治協議会」	校区自治協議会代表者、公民館長、区職員等	1/23	62人	早良	地域コミュニティ推進交流会（情報交換会）	自治協議会会長、公民館職員、区職員	12/1	70人
区	事業内容	対象	実施時期	参加人数												
南	南区自治組織協議会・公民館長会合同研修「生まれ変わろう 公民館・自治協議会」	校区自治協議会代表者、公民館長、区職員等	1/23	62人												
早良	地域コミュニティ推進交流会（情報交換会）	自治協議会会長、公民館職員、区職員	12/1	70人												
<p>ウ 公民館による自治協議会等のコミュニティ支援の充実</p>	<p>【コミュニティに対する情報提供・施設提供など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供・施設提供などの支援を引き続き実施している ・公民館職員のパソコン処理能力の向上を図り、ホームページや公民館だよりなどの情報発信力を強化する「公民館情報発信力向上支援事業」を、平成22年度より全市に拡大し実施している（早良区は平成21年度より実施） ・公民館ブログや公民館だよりと連携し、地域コミュニティの広報活動等を支援する 															

主な事業等	事業等の実績											
エ 公民館職員への研修などの実施	職員の資質向上を図るため、各区において、自治協議会との連携やコミュニティの支援、生涯学習、人権教育に関する研修などを実施している【年6回】 <ul style="list-style-type: none"> ・新任・再任公民館職員を対象に、自治協議会との連携やコミュニティ支援に関する研修を実施している ・校区担当職員による公民館訪問を通して公民館への助言・指導に努めている 											
(2) 情報通信技術（ICT）の活用促進												
ア コミュニティが行う広報活動の支援	再掲 I-(1)オ											
(3) 市役所のあり方												
ア 校区担当職員による自治協議会等のコミュニティ支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ支援に活用できるよう、校区担当職員への研修の中で、地域における課題への対応策などについての意見・情報交換を行った（IV-(3)エ） 											
イ 校区担当職員への研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・校区担当職員を対象に、次の研修を行った【7~8月】 <table border="1" data-bbox="472 1057 1417 1464"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>日時</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新任校区担当職員</td> <td>5/30</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ施策・事業について ・公民館について ・校区担当職員に求められるものについて </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">校区担当職員（全員）</td> <td>6/3 6/12</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・NPOの基礎研修 ・コミュニケーション研修 </td> </tr> <tr> <td>6/17 6/18</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・人権研修 ・ワークショップ ～新しい担い手によるコミュニティ形成～ </td> </tr> </tbody> </table>	対象	日時	内容	新任校区担当職員	5/30	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ施策・事業について ・公民館について ・校区担当職員に求められるものについて 	校区担当職員（全員）	6/3 6/12	<ul style="list-style-type: none"> ・NPOの基礎研修 ・コミュニケーション研修 	6/17 6/18	<ul style="list-style-type: none"> ・人権研修 ・ワークショップ ～新しい担い手によるコミュニティ形成～
対象	日時	内容										
新任校区担当職員	5/30	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ施策・事業について ・公民館について ・校区担当職員に求められるものについて 										
校区担当職員（全員）	6/3 6/12	<ul style="list-style-type: none"> ・NPOの基礎研修 ・コミュニケーション研修 										
	6/17 6/18	<ul style="list-style-type: none"> ・人権研修 ・ワークショップ ～新しい担い手によるコミュニティ形成～ 										

主な事業等	事業等の実績																												
ウ 職員研修の実施	<p>【コミュニティに関する全職員研修（集合研修）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員対象の必修研修として「コミュニティに関する全職員研修」を実施している（H21.11月～） <p>＜26年度実施日・講師＞ ※ 各回2時間。14回開催</p> <table border="1" data-bbox="507 389 1302 1122"> <thead> <tr> <th>日程</th> <th>講師（主な役職）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>コーディネーター： 十時 裕 氏（地域活動アドバイザー）</td> </tr> <tr> <td>1/26</td> <td>中橋 庸介 氏（弥永西校区自治協議会会長） 〃</td> </tr> <tr> <td>1/29</td> <td>川邊 哲 氏（那珂校区自治協議会会長） 〃</td> </tr> <tr> <td>1/30</td> <td>山口 繁実 氏（堤地区自治協議会会長） 中西 英理 氏（堤地区自治協議会庶務） 〃</td> </tr> <tr> <td>2/2</td> <td>楠下 広師 氏（春吉校区自治協議会会長） 〃</td> </tr> <tr> <td>2/4</td> <td>馬場 公司 氏（東箱崎校区団体協議会会長） 〃</td> </tr> <tr> <td>2/5</td> <td>橋本 幹生 氏（飯倉校区自治協議会会長） 〃</td> </tr> <tr> <td>2/6</td> <td>青木 敏文 氏（下山門校区自治協議会会長） 篠崎 弘幸 氏（姪北校区自治協議会会長）</td> </tr> </tbody> </table> <p>＜主な内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ施策の考え方、取り組むべき事項 ・写真によるコミュニティの活動紹介 ・外部講師によるミニフォーラム <p>＜受講者数＞ 約1,200人（各回90人程度）</p> <p>＜会場＞ 市職員研修センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員（社会人経験者含）に対し、「コミュニティと市の共働」について、研修を実施した。 <p>＜研修の概要＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員研修の中で実施 ・市職員が講師となり、自治協議会制度の概要を中心に説明（290人受講） <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区において、所属職員を対象に、次の研修を実施した <table border="1" data-bbox="419 1552 1361 1668"> <thead> <tr> <th>区</th> <th>事業内容</th> <th>対象</th> <th>実施時期</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>城南</td> <td>「自治と共働のまちづくり」職員研修（区職員研修の中で実施）</td> <td>城南区役所職員（希望者）</td> <td>3/17</td> <td>18人</td> </tr> </tbody> </table>	日程	講師（主な役職）		コーディネーター： 十時 裕 氏（地域活動アドバイザー）	1/26	中橋 庸介 氏（弥永西校区自治協議会会長） 〃	1/29	川邊 哲 氏（那珂校区自治協議会会長） 〃	1/30	山口 繁実 氏（堤地区自治協議会会長） 中西 英理 氏（堤地区自治協議会庶務） 〃	2/2	楠下 広師 氏（春吉校区自治協議会会長） 〃	2/4	馬場 公司 氏（東箱崎校区団体協議会会長） 〃	2/5	橋本 幹生 氏（飯倉校区自治協議会会長） 〃	2/6	青木 敏文 氏（下山門校区自治協議会会長） 篠崎 弘幸 氏（姪北校区自治協議会会長）	区	事業内容	対象	実施時期	参加人数	城南	「自治と共働のまちづくり」職員研修（区職員研修の中で実施）	城南区役所職員（希望者）	3/17	18人
日程	講師（主な役職）																												
	コーディネーター： 十時 裕 氏（地域活動アドバイザー）																												
1/26	中橋 庸介 氏（弥永西校区自治協議会会長） 〃																												
1/29	川邊 哲 氏（那珂校区自治協議会会長） 〃																												
1/30	山口 繁実 氏（堤地区自治協議会会長） 中西 英理 氏（堤地区自治協議会庶務） 〃																												
2/2	楠下 広師 氏（春吉校区自治協議会会長） 〃																												
2/4	馬場 公司 氏（東箱崎校区団体協議会会長） 〃																												
2/5	橋本 幹生 氏（飯倉校区自治協議会会長） 〃																												
2/6	青木 敏文 氏（下山門校区自治協議会会長） 篠崎 弘幸 氏（姪北校区自治協議会会長）																												
区	事業内容	対象	実施時期	参加人数																									
城南	「自治と共働のまちづくり」職員研修（区職員研修の中で実施）	城南区役所職員（希望者）	3/17	18人																									
エ 職員向け手引きの作成	<p>事業完了</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年11月に職員向け手引書「地域との共働の手引」を発行 ・平成26年12月に、「地域との共働の手引」（改訂版）を発行 [改訂内容] 自治協議会の設立数などを最新のものに更新 </div> <p>※ 全職員研修の中で、テキストとして使用している</p>																												
オ 市民向けPRチラシの作成・配布	<p>再掲Ⅱ-（1）エ</p>																												
カ 「コミュニティ通信」を通じた地域情報の発信	<p>再掲Ⅰ-（1）イ</p>																												

■ I 魅力づくり

[主な事業等の状況]

主な事業等	事業等の実績																								
(1) 自分の地域やコミュニティ活動への関心を高める																									
<p>ア 「自治協議会サミット」の開催</p>	<p>「第4回福岡市自治協議会サミット」を、福岡市自治協議会等7区会長会との共催により開催 <開催日時> 平成27年11月27日(金) 13:30~16:30 <会場> ももちパレス 大ホール <参加人数> 約600人(自治協議会関係者、市民など) <内容> ■ 活動事例発表</p> <table border="1" data-bbox="491 627 1401 1041"> <thead> <tr> <th>区</th> <th>団体名</th> <th>発表テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東</td> <td>三苦校区自治協議会</td> <td>高齢者も安心して暮らせるように「三苦當繕おたすけ隊」がお手伝い</td> </tr> <tr> <td>博多</td> <td>東月隈校区自治協議会</td> <td>献血ふれあい事業 in 東月隈</td> </tr> <tr> <td>中央</td> <td>笹丘校区自治連合会</td> <td>地域の安心安全は向こう8軒両々隣</td> </tr> <tr> <td>南</td> <td>長丘自治協議会</td> <td>長丘の道路にみんなで考えた愛称をつけよう!</td> </tr> <tr> <td>城南</td> <td>別府校区自治協議会</td> <td>別府っ子体力向上事業</td> </tr> <tr> <td>早良</td> <td>飯倉中央校区自治協議会</td> <td>三世代交流で明るいまちづくり</td> </tr> <tr> <td>西</td> <td>下山門校区安全安心少年隊</td> <td>下山門安全安心少年隊の活動について</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 意見交換・質疑</p> <p>コーディネーター：九州大学大学院芸術工学研究院教授 森田 昌嗣 氏 (地域のまち・絆づくり検討委員会委員長)</p> <p>コメンテーター：福岡市自治協議会等7区会長会代表 石川 孝治 氏 福岡市自治協議会等7区会長会代表 平山 清子 氏 NPO法人ドネルモ代表理事 山内 泰 氏 (株)ふくや 網の目コミュニケーション室室長 宗 寿彦 氏</p>	区	団体名	発表テーマ	東	三苦校区自治協議会	高齢者も安心して暮らせるように「三苦當繕おたすけ隊」がお手伝い	博多	東月隈校区自治協議会	献血ふれあい事業 in 東月隈	中央	笹丘校区自治連合会	地域の安心安全は向こう8軒両々隣	南	長丘自治協議会	長丘の道路にみんなで考えた愛称をつけよう!	城南	別府校区自治協議会	別府っ子体力向上事業	早良	飯倉中央校区自治協議会	三世代交流で明るいまちづくり	西	下山門校区安全安心少年隊	下山門安全安心少年隊の活動について
区	団体名	発表テーマ																							
東	三苦校区自治協議会	高齢者も安心して暮らせるように「三苦當繕おたすけ隊」がお手伝い																							
博多	東月隈校区自治協議会	献血ふれあい事業 in 東月隈																							
中央	笹丘校区自治連合会	地域の安心安全は向こう8軒両々隣																							
南	長丘自治協議会	長丘の道路にみんなで考えた愛称をつけよう!																							
城南	別府校区自治協議会	別府っ子体力向上事業																							
早良	飯倉中央校区自治協議会	三世代交流で明るいまちづくり																							
西	下山門校区安全安心少年隊	下山門安全安心少年隊の活動について																							
<p>イ 「コミュニティ通信」を通じた地域情報の発信</p>	<p>・「コミュニティ通信」(21年10月創刊)を発行した <27年度発行実績> 4/1号、7/1号、10/1号、1/1号 ※年4回発行 <発行部数> 毎号45,000部(自治協議会等を通じ、地域で回覧) <掲載内容> ■ 4/1号(第23号) ~テーマ 子ども~ 校区の特色ある活動事例(1区, 6校区)</p> <table border="1" data-bbox="470 1720 1484 2083"> <thead> <tr> <th>団体</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東区志賀島校区</td> <td>県指定無形民族文化財に登録されている「歩射祭」を紹介</td> </tr> <tr> <td>博多区那珂南校区</td> <td>校区青少年育成連合会が考案した「コッチボール」について紹介</td> </tr> <tr> <td>中央区当仁校区</td> <td>子どもリーダーが企画・運営を「子ども文化祭」について紹介</td> </tr> <tr> <td>南区玉川校区</td> <td>小学校と共同で作成している町内ごとの「七夕飾り」について紹介</td> </tr> <tr> <td>城南区別府校区</td> <td>校区子ども会育成会主催の「学校に泊まろう」について紹介</td> </tr> <tr> <td>早良区</td> <td>他校区の生徒との交流や地域活動への関心を持ってもらうための「早良区中学生クイズ大会」を紹介</td> </tr> <tr> <td>西区下山門校区</td> <td>中学生と小学生で組織する「安全安心少年隊」の取組みについてを紹介</td> </tr> </tbody> </table>	団体	内容	東区志賀島校区	県指定無形民族文化財に登録されている「歩射祭」を紹介	博多区那珂南校区	校区青少年育成連合会が考案した「コッチボール」について紹介	中央区当仁校区	子どもリーダーが企画・運営を「子ども文化祭」について紹介	南区玉川校区	小学校と共同で作成している町内ごとの「七夕飾り」について紹介	城南区別府校区	校区子ども会育成会主催の「学校に泊まろう」について紹介	早良区	他校区の生徒との交流や地域活動への関心を持ってもらうための「早良区中学生クイズ大会」を紹介	西区下山門校区	中学生と小学生で組織する「安全安心少年隊」の取組みについてを紹介								
団体	内容																								
東区志賀島校区	県指定無形民族文化財に登録されている「歩射祭」を紹介																								
博多区那珂南校区	校区青少年育成連合会が考案した「コッチボール」について紹介																								
中央区当仁校区	子どもリーダーが企画・運営を「子ども文化祭」について紹介																								
南区玉川校区	小学校と共同で作成している町内ごとの「七夕飾り」について紹介																								
城南区別府校区	校区子ども会育成会主催の「学校に泊まろう」について紹介																								
早良区	他校区の生徒との交流や地域活動への関心を持ってもらうための「早良区中学生クイズ大会」を紹介																								
西区下山門校区	中学生と小学生で組織する「安全安心少年隊」の取組みについてを紹介																								

主な事業等	事業等の実績																																						
<p>イ 「コミュニティ通信」を通じた地域情報の発信（つづき）</p>	<p>■ 7/1号（第24号） ～テーマ 安全・安心～ 校区の特色ある活動事例（7校区）</p> <table border="1" data-bbox="470 255 1476 602"> <thead> <tr> <th>団体</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東区若宮校区</td> <td>地域と小学5年生が一緒に作成した「校区安全安心マップ」の取組みを紹介</td> </tr> <tr> <td>博多区美野島校区</td> <td>防災委員会で作成した「地震避難マップ」の取組みを紹介</td> </tr> <tr> <td>中央区高宮校区</td> <td>校区全町内を網羅した町内会毎の防犯パトロールの取組みについて紹介</td> </tr> <tr> <td>南区長住校区</td> <td>女性に優しい避難所づくり・安心できる避難所づくりをテーマにした「防災研修」を紹介</td> </tr> <tr> <td>城南区鳥飼校区</td> <td>住民が自主的に防犯・防災活動に参加する「ちょこパト」について紹介</td> </tr> <tr> <td>早良区加茂校区</td> <td>「我が町は自分たちで守ろう」を合言葉に安全・安心に取り組む「なまずの会」について紹介</td> </tr> <tr> <td>西区玄界校区</td> <td>福岡県西方沖地震を教訓に全島民を対象とした「防災訓練」について紹介</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 10/1号（第25号） ～テーマ スポーツ・健康～ 校区の特色ある活動事例（5校区）</p> <table border="1" data-bbox="470 689 1476 949"> <thead> <tr> <th>団体</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東区舞松原校区</td> <td>ねんりんクラブ事業として実施した「カーリンコン大会」について紹介</td> </tr> <tr> <td>博多区春住校区</td> <td>31年も続く校区の人気事業でもある「わいわいスケーティング」を紹介</td> </tr> <tr> <td>城南区城南校区</td> <td>住民の交流と健康づくりを目的に毎週日曜日に開催する「ひまわりサンデーラジオ体操」を紹介</td> </tr> <tr> <td>早良区田村校区</td> <td>健康づくりをしながら町をきれいにする「ウォーキング大会」を紹介</td> </tr> <tr> <td>西区内浜校区</td> <td>公民館とスポーツ振興会共催の「卓球バレー」について紹介</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 1/1号（第26号） ～テーマ：子ども・伝統文化継承～ 校区の特色ある活動事例（4校区）</p> <table border="1" data-bbox="470 1037 1476 1252"> <thead> <tr> <th>団体</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>博多区博多校区</td> <td>子どもから高齢者まで参加する「どんと焼き」について紹介</td> </tr> <tr> <td>中央区平尾校区</td> <td>勤王の女流歌人「野村望東尼」の行跡を後世につなぐ取組みを紹介</td> </tr> <tr> <td>南区日佐校区</td> <td>幼児から小学生までが参加し長年続いている「子どもすもう大会」を紹介</td> </tr> <tr> <td>早良区田隈校区</td> <td>14回目となる「たぐま子どもキャンプ」の活動について紹介</td> </tr> </tbody> </table>	団体	内容	東区若宮校区	地域と小学5年生が一緒に作成した「校区安全安心マップ」の取組みを紹介	博多区美野島校区	防災委員会で作成した「地震避難マップ」の取組みを紹介	中央区高宮校区	校区全町内を網羅した町内会毎の防犯パトロールの取組みについて紹介	南区長住校区	女性に優しい避難所づくり・安心できる避難所づくりをテーマにした「防災研修」を紹介	城南区鳥飼校区	住民が自主的に防犯・防災活動に参加する「ちょこパト」について紹介	早良区加茂校区	「我が町は自分たちで守ろう」を合言葉に安全・安心に取り組む「なまずの会」について紹介	西区玄界校区	福岡県西方沖地震を教訓に全島民を対象とした「防災訓練」について紹介	団体	内容	東区舞松原校区	ねんりんクラブ事業として実施した「カーリンコン大会」について紹介	博多区春住校区	31年も続く校区の人気事業でもある「わいわいスケーティング」を紹介	城南区城南校区	住民の交流と健康づくりを目的に毎週日曜日に開催する「ひまわりサンデーラジオ体操」を紹介	早良区田村校区	健康づくりをしながら町をきれいにする「ウォーキング大会」を紹介	西区内浜校区	公民館とスポーツ振興会共催の「卓球バレー」について紹介	団体	内容	博多区博多校区	子どもから高齢者まで参加する「どんと焼き」について紹介	中央区平尾校区	勤王の女流歌人「野村望東尼」の行跡を後世につなぐ取組みを紹介	南区日佐校区	幼児から小学生までが参加し長年続いている「子どもすもう大会」を紹介	早良区田隈校区	14回目となる「たぐま子どもキャンプ」の活動について紹介
団体	内容																																						
東区若宮校区	地域と小学5年生が一緒に作成した「校区安全安心マップ」の取組みを紹介																																						
博多区美野島校区	防災委員会で作成した「地震避難マップ」の取組みを紹介																																						
中央区高宮校区	校区全町内を網羅した町内会毎の防犯パトロールの取組みについて紹介																																						
南区長住校区	女性に優しい避難所づくり・安心できる避難所づくりをテーマにした「防災研修」を紹介																																						
城南区鳥飼校区	住民が自主的に防犯・防災活動に参加する「ちょこパト」について紹介																																						
早良区加茂校区	「我が町は自分たちで守ろう」を合言葉に安全・安心に取り組む「なまずの会」について紹介																																						
西区玄界校区	福岡県西方沖地震を教訓に全島民を対象とした「防災訓練」について紹介																																						
団体	内容																																						
東区舞松原校区	ねんりんクラブ事業として実施した「カーリンコン大会」について紹介																																						
博多区春住校区	31年も続く校区の人気事業でもある「わいわいスケーティング」を紹介																																						
城南区城南校区	住民の交流と健康づくりを目的に毎週日曜日に開催する「ひまわりサンデーラジオ体操」を紹介																																						
早良区田村校区	健康づくりをしながら町をきれいにする「ウォーキング大会」を紹介																																						
西区内浜校区	公民館とスポーツ振興会共催の「卓球バレー」について紹介																																						
団体	内容																																						
博多区博多校区	子どもから高齢者まで参加する「どんと焼き」について紹介																																						
中央区平尾校区	勤王の女流歌人「野村望東尼」の行跡を後世につなぐ取組みを紹介																																						
南区日佐校区	幼児から小学生までが参加し長年続いている「子どもすもう大会」を紹介																																						
早良区田隈校区	14回目となる「たぐま子どもキャンプ」の活動について紹介																																						
<p>ウ 「ふくおか市政だより」への記事掲載</p>	<p>・各区の情報を掲載する「区版」を中心に、コミュニティの活動や取組みを紹介する記事を掲載している</p> <p>【全市版】 7/15, 10/1, 11/15 【東】 7/1, 7/15, 8/15, 9/15, 10/1, 10/15, 2/15 【博多】 4/15, 5/1, 7/15, 8/1, 10/1, 11/15, 12/15, 1/1 【中央】 4/1, 4/15, 5/1, 5/15, 6/15, 7/15, 8/1, 10/1, 10/15, 11/15, 12/1, 1/1, 2/15 【南】 4/1, 4/15, 5/1, 5/15, 9/1, 9/15, 10/15, 11/1, 11/15, 12/1, 1/1 【城南】 4/15, 5/15, 6/15, 7/15, 9/1, 10/1, 10/15, 11/1, 11/15, 12/15 【早良】 4/1, 4/15, 5/15, 6/15, 7/1, 7/15, 8/1, 8/15, 9/15, 10/1, 11/15, 12/15, 1/1, 2/15, 3/1 【西】 4/1, 5/15, 6/15, 8/1, 9/1, 10/15, 12/15, 2/15</p>																																						
<p>エ 市ホームページの充実</p>	<p>・市ホームページに次の事柄を掲載し、情報を発信している</p> <ul style="list-style-type: none"> － 「コミュニティ通信」（4/1号、7/1号、10/1号、1/1号） － 「コミュニティの自治の確立」「コミュニティと市の共働」に向けた取組みの実施状況 <p>・ 区ホームページで、自治協議会の活動紹介や公民館の紹介などを行っている</p>																																						

主な事業等	事業等の実績														
オ コミュニティが行う広報活動の支援	<p>【広報講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各区において、次の講座を実施している <table border="1" data-bbox="416 255 1390 367"> <thead> <tr> <th>区</th> <th>事業内容</th> <th>対象</th> <th>実施時期</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>城南</td> <td>自治協議会等広報講座</td> <td>広報担当者</td> <td>6/16, 6/23</td> <td>48人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【まちづくりICT活用支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治協議会等の希望に応じて、インターネット等を用いた地域情報の発信の支援を行っている〔H22.4月～〕 ブログを活用した情報発信の支援、運営方法に関する講座を実施 ポータルサイト「Fukuコミュ」での紹介 ケーブルテレビ番組を利用して上記活動を紹介 					区	事業内容	対象	実施時期	参加人数	城南	自治協議会等広報講座	広報担当者	6/16, 6/23	48人
区	事業内容	対象	実施時期	参加人数											
城南	自治協議会等広報講座	広報担当者	6/16, 6/23	48人											
カ 「地域デビュー応援事業」による自治会・町内会への支援					再掲 II-(1)ア										

(2) 幅広い多くの地域住民の参加

ア ボランティア体験事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」の相談事業として、ボランティア活動に興味がある一般市民、学生、社会人などに、それぞれのニーズに合わせた体験活動プログラムを提供する「ボランティア体験事業」を実施している〔H24.4月～〕 <p> <27年度体験プログラム数> 28 <27年度体験人数> 164人 ※28年1月末現在 </p>																			
イ ボランティアに興味がある市民への情報提供	<p>【「あすみん」を通じた情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の全公民館にNPO・ボランティア活動に関するメールマガジンを配信している（月2回） NPO・ボランティア交流センター「あすみん」内に、「市政だより」や各校区の「公民館だより」に掲載されているボランティア情報を掲示している ボランティアに興味・関心を持つ市民を対象に「ボランティア入門講座」を実施した〔5月に合計2回実施〕 <p>【研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> 区において、自治協議会や公民館が連携して実施する次の講座等を支援した <table border="1" data-bbox="443 1626 1469 1890"> <thead> <tr> <th>区</th> <th>事業内容</th> <th>対象</th> <th>実施時期</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>城南</td> <td>大学生への地域活動ガイダンス</td> <td>福岡大学・中村学園大学学生、自治協議会（七隈校区）</td> <td>5/23</td> <td>54人</td> </tr> <tr> <td>城南</td> <td>P T A活動者の地域活動研修</td> <td>小・中 P T A 役員等、自治協議会（七隈校区）</td> <td>6/27</td> <td>82人</td> </tr> </tbody> </table>					区	事業内容	対象	実施時期	参加人数	城南	大学生への地域活動ガイダンス	福岡大学・中村学園大学学生、自治協議会（七隈校区）	5/23	54人	城南	P T A活動者の地域活動研修	小・中 P T A 役員等、自治協議会（七隈校区）	6/27	82人
区	事業内容	対象	実施時期	参加人数																
城南	大学生への地域活動ガイダンス	福岡大学・中村学園大学学生、自治協議会（七隈校区）	5/23	54人																
城南	P T A活動者の地域活動研修	小・中 P T A 役員等、自治協議会（七隈校区）	6/27	82人																

主な事業等	事業等の実績	
ウ 「地域デビュー応援事業」による自治会・町内会への支援		再掲 II-(1) ア
エ 公民館事業を通じた人事発掘・育成		再掲 IV-(1) ア
(3) 校区・地区の実情・特色に応じたコミュニティ活動や運営		
ア 「活力あるまちづくり支援事業補助金」による支援	<p>・自治協議会が主体的に活用できる補助金（人口に応じ5区分、230-370万円）を申請に応じて交付している〔148自治協議会に交付〕</p> <p>※自治協議会の設立は149校区/地区のうちすべての校区/地区で設立されている</p>	
イ 「自治協議会サミット」の開催		再掲 I-(1) ア

主な事業等	事業等の実績																														
<p>(1) 顔の見える関係づくり</p> <p>ア 「地域デビュー応援事業」による自治会・町内会への支援</p>	<p>・自治会・町内会が行う、幅広い世代の住民が気軽に楽しく参加し、交流できるような工夫をこらした新たな取組みを支援している（継続的に開催される「地域カフェ」などの交流の場づくりも対象とした）</p> <p>【補助金額】 本事業による補助金の交付は、1団体につき1事業のみとし、3年を限度とする。補助金の額は次の表の事業区分に応じ算定した額とする。</p> <table border="1" data-bbox="509 577 1402 757"> <thead> <tr> <th>事業区分</th> <th colspan="2">補助率</th> <th>補助金の限度額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">新規事業</td> <td>1年目</td> <td>5分の4以内</td> <td>100,000円</td> </tr> <tr> <td>2・3年目</td> <td>2分の1以内</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td>リニューアル事業</td> <td>1～3年目</td> <td>2分の1以内</td> <td>50,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【27年度交付実績】（27年12月31日時点） 1年目 新規事業 71件、リニューアル事業 29件 2年目 新規事業 99件、リニューアル事業 74件 合計273件</p>	事業区分	補助率		補助金の限度額	新規事業	1年目	5分の4以内	100,000円	2・3年目	2分の1以内	50,000円	リニューアル事業	1～3年目	2分の1以内	50,000円															
事業区分	補助率		補助金の限度額																												
新規事業	1年目	5分の4以内	100,000円																												
	2・3年目	2分の1以内	50,000円																												
リニューアル事業	1～3年目	2分の1以内	50,000円																												
<p>イ 自治協議会と連携して実施する等による自治会・町内会向けの研修会等の開催</p>	<p>【自治会・町内会長研修】</p> <table border="1" data-bbox="491 1003 1453 1424"> <thead> <tr> <th>区</th> <th>事業内容</th> <th>対象</th> <th>実施時期</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東</td> <td>自治会長研修</td> <td>自治会長（八田校区）</td> <td>6/11</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>博多</td> <td>自治会長・町内会長研修会</td> <td>自治会・町内会長等（各校区3名程度）</td> <td>5/23</td> <td>47人</td> </tr> <tr> <td>中央</td> <td>自治会・町内会長交流会</td> <td>自治会・町内会長等</td> <td>2/26</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>南</td> <td>自治会長・町内会長ワークショップ</td> <td>中堅自治会長・町内会長</td> <td>6/9, 6/18</td> <td>49人</td> </tr> <tr> <td>西</td> <td>自治会・町内会新任役員研修</td> <td>新任自治会・町内会長等</td> <td>5/26, 5/29</td> <td>86人</td> </tr> </tbody> </table>	区	事業内容	対象	実施時期	参加人数	東	自治会長研修	自治会長（八田校区）	6/11	15人	博多	自治会長・町内会長研修会	自治会・町内会長等（各校区3名程度）	5/23	47人	中央	自治会・町内会長交流会	自治会・町内会長等	2/26	36人	南	自治会長・町内会長ワークショップ	中堅自治会長・町内会長	6/9, 6/18	49人	西	自治会・町内会新任役員研修	新任自治会・町内会長等	5/26, 5/29	86人
区	事業内容	対象	実施時期	参加人数																											
東	自治会長研修	自治会長（八田校区）	6/11	15人																											
博多	自治会長・町内会長研修会	自治会・町内会長等（各校区3名程度）	5/23	47人																											
中央	自治会・町内会長交流会	自治会・町内会長等	2/26	36人																											
南	自治会長・町内会長ワークショップ	中堅自治会長・町内会長	6/9, 6/18	49人																											
西	自治会・町内会新任役員研修	新任自治会・町内会長等	5/26, 5/29	86人																											
<p>ウ 自治会・町内会の法人認可（地縁団体認可）</p>	<p>・自治会・町内会等の地縁による団体について、申請に応じ、法人として認可している〔随時〕 〈27年度認可数〉 3件（28年2月1日時点） ※ 制度発足（H13）からの法人認可数：344件</p>																														
<p>エ 市民向けPRチラシの作成・配布</p>	<p>・コミュニティの大切さや取組みを紹介し、市民の理解を求めるチラシを作成し、配布を行っている〔H22.3月～〕 〈配布方法〉 区役所市民課窓口にて、市外からの転入者に配布</p> <p>・自治会・町内会自らが、転入者や未加入者に対し自治組織の意義や重要性についてPRすることができ、自治会の名称や連絡先を記載できるチラシを配布〔H25.3月～〕</p>																														

主な事業等	事業等の実績
オ 「自治会活動ハンドブック」の作成、配布	事業完了 〔平成 22 年 3 月に「自治会活動ハンドブック-第 2 次改訂版-」及びパンフレット「住みよいまちをみんなで作ろう！」を発行〕 ※ 区によっては、このハンドブックを活用した研修会を実施 ※ 平成 22 年度には姉妹編として、「自治会長の知恵袋」（実際の活動現場で生まれたアイデアやノウハウ、先進的な取り組みを、運営や活動の場面ごとにまとめた事例集）を作成
カ 集合住宅入居者の自治会・町内会加入の促進	再掲Ⅱ-（2）ア

(2) 集合住宅入居者の地域との関わり

ア 集合住宅入居者の自治会・町内会加入の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・UR都市機構「福岡営業センター」にて、入居契約者に対する自治活動参加促進チラシの配布、「コミュニティ通信」のセンターでの備え付けを依頼した。 ・区において、次の取り組みを行った。 <table border="1" data-bbox="405 864 1398 1245"> <thead> <tr> <th>区</th> <th>事業内容</th> <th>対象</th> <th>実施時期</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">西</td> <td>下記、西区コミュニティ活動推進協定に基づく三者による情報交換会議</td> <td>西区自治協議会役員(四役)</td> <td>2/19</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> 西区コミュニティ推進協定締結（平成 25 年 11 月 9 日） ※西区自治協議会会長会、(公社)福岡県宅地建物取引業協会福岡西支部、西区役所の三者で校区自治協議会並びに自治会・町内会が取り組む安全・安心で明るく住みよいまちづくり活動に対し、連携して取り組んでいく旨の協定を締結 </td> </tr> </tbody> </table>	区	事業内容	対象	実施時期	参加人数	西	下記、西区コミュニティ活動推進協定に基づく三者による情報交換会議	西区自治協議会役員(四役)	2/19	14人	西区コミュニティ推進協定締結（平成 25 年 11 月 9 日） ※西区自治協議会会長会、(公社)福岡県宅地建物取引業協会福岡西支部、西区役所の三者で校区自治協議会並びに自治会・町内会が取り組む安全・安心で明るく住みよいまちづくり活動に対し、連携して取り組んでいく旨の協定を締結			
区	事業内容	対象	実施時期	参加人数											
西	下記、西区コミュニティ活動推進協定に基づく三者による情報交換会議	西区自治協議会役員(四役)	2/19	14人											
	西区コミュニティ推進協定締結（平成 25 年 11 月 9 日） ※西区自治協議会会長会、(公社)福岡県宅地建物取引業協会福岡西支部、西区役所の三者で校区自治協議会並びに自治会・町内会が取り組む安全・安心で明るく住みよいまちづくり活動に対し、連携して取り組んでいく旨の協定を締結														
イ 市民向けPRチラシの作成・配布	再掲Ⅱ-（1）エ														

(3) 地域の各種団体間等の連携強化

ア 活力あるまちづくり支援事業補助金の交付	再掲Ⅰ-（3）ア
-----------------------	----------

■Ⅲ 担い手づくり

[主な事業等の状況]

主な事業等	事業等の実績				
(1) 地域活動への参加者を増やす					
ア 自治協議会活動の活性化に向けた研修会等の開催や勉強会への協力	【事例発表会・シンポジウム等】				
	区	事業内容	対象	実施時期	参加人数
	早良	地域コミュニティ推進交流会（情報交換会）	自治協議会会長、公民館職員、区職員	2/18	75人
	西	西区自治協議会・公民館長会合同研修「原子力災害講演会」	自治協議会会長、公民館職員、区職員等	7/24	339人
	【自治協議会実務者研修】				
	区	事業内容	対象	実施時期	参加人数
	東	自治協議会実務者研修	自治協議会役員及び各種団体役員	6/21（八田校区） 6/6（多々良校区） 6/30（千早校区） 8/26（城浜校区）	101人
	南	校区各種団体への会計研修	各種団体の会計担当者	5/14（西高宮校区） 6/27（長住校区） 6/27（大池校区） 2/26（弥永西）	80人
	城南	自治協議会等会計担当者研修（会計処理等に関する実務担当者研修）	自治協議会会計担当者等	7/22（別府校区）	16人
	西	自治協議会実務研修 テーマ別の意見交換会（ワールドカフェ）	自治協議会会長、副会長、会計担当者等	9/17	61人
	【リーダー養成講座】				
	区	事業内容	対象	実施時期	参加人数
	南	地域のコミュニケーション力アップのためのWS	校区自治協議会代表者	7/28	25人
城南	地域リーダー養成講座	地域リーダー養成講座（堤地区）	5/16	17人	
【その他】					
区	事業内容	対象	実施時期	参加人数	
南区	校区自治協議会WS	地域活動者（西花畑校区）	11/20	40人	
博多	魅力あるコミュニティづくり研修会	自治協議会 会長・副会長・会計	1/23	56人	
<p>・中央区において、「キラリ校区支援事業」を実施 校区を対象として、地域課題の抽出、解決策の検討などの取り組みを支援。 27年度は、舞鶴自治協議会において、社会福祉協議会と公民館と連携して、高齢者の居場所づくりとして舞鶴公民館で、地域カフェ（舞鶴カフェ）を実施し、そのコラボ企画として12月13日にクリスマスコンサートを実施。</p>					

主な事業等	事業等の実績
イ 自治協議会等 会長への感謝状 の贈呈	<ul style="list-style-type: none"> 自治貢献者に対し、市長から感謝状を贈呈した 〈対象者〉 自治協議会会長退任者 〈贈呈人数〉 贈呈人数 10人 〈贈呈式〉 平成27年11月27日 ※「第4回福岡市自治協議会サミット」の中で実施
ウ 「自治活動ハンドブック」の作成、配布	再掲Ⅱ-（1）オ
エ 「地域デビュー応援事業」による自治会・町内会への支援	再掲Ⅱ-（1）ア
オ 自治協議会と連携して実施する等による自治会・町内会向けの研修会等の開催	再掲Ⅱ-（1）イ
(2) 地域役員等の担い手づくり	
ア コミュニティ への協力依頼 の整理・削減	<p>【全局・区・室での取り組み推進】</p> <p>〈25年度までの取り組み〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 21年度から見直しに本格着手し、推進本部を中心に全庁的な見直しを推進してきたが、十分な取り組みがなされていなかった。 そこで、平成22年度に、推進本部の中で取り組み方針を改めて確認し、全局・区・室において、再度、協力依頼の見直しに向けた検討作業を実施した上で、着実に見直しを実行するよう周知徹底を図った。 推進本部において、引き続き着実に見直しを実行するよう、取り組み内容の周知徹底を図った。
イ 公民館事業を通じた人材発掘・育成	再掲Ⅳ-（1）ア
ウ 自治協議会と連携して実施する等による自治会・町内会向けの研修会等の開催	再掲Ⅱ-（1）イ
エ 自治協議会活動の活性化に向けた研修会等の開催や勉強会への協力	再掲Ⅲ-（1）ア
オ 「自治協議会サミット」の開催	再掲Ⅰ-（1）ア
カ 自治協議会等会長への感謝状の贈呈	再掲Ⅲ-（1）イ
キ 活力あるまちづくり支援事業補助金の交付	再掲Ⅰ-（3）ア
(3) 新たな担い手としての企業等の参加の促進	
ア “ふくおか” 地域の絆応援 団の登録・公表	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動を応援している企業や商店街等を“ふくおか”地域の絆応援団として登録・公表し、地域との連携を進める 【応援団登録数】（28年2月29日時点） ・12団体（企業、商店街、大学、個人事業所など含）

主な事業等	事業等の実績
イ セミナー開催による連携の促進	<p>・NPOや企業の等との共働による地域課題解決への取組みを促進するとともに、コミュニティの担い手と雇用の創出を目指す</p> <p>【地域課題可決プロジェクト創出セミナー開催実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 平成27年 5月20日（参加者：約70名） 地域課題の解決に向けた取組みを行なっている企業・NPOの方々によるトークセッション ・第2回 平成27年 7月29日（参加者：約100名） テーマ：高齢者を地域で支えるさまざまなビジネス（事例紹介） ・第3回 平成27年11月29日（参加者：約70名） テーマ：地域での健康づくりや見守りを支えるICT技術を活用したビジネス（事例紹介） ・第4回 平成28年 2月23日開催（参加者：約80名） テーマ：地域カフェなど、地域での交流の場所づくり（事例紹介） <p>※対象者：地域でのビジネスに関心のある創業者，企業の新規事業部門関係者，自治協議会等地域団体関係者，そのほか一般の方</p>

■IV 全体を通じた取組

[主な事業等の状況]

主な事業等	事業等の実績										
(1) 公民館の取組											
<p>ア 公民館事業を通じた人材発掘・育成</p>	<p>【公民館地域人材発掘・育成支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団塊の世代や地域ボランティアに関心を持つ人など、地域における多様な人材のコミュニティデビューを促す事業を地域と連携して実施し、活動の担い手づくりを通じて、コミュニティの活性化を図ることを目的に実施〔H24.4月～〕 <p>【自治会コミュニティ応援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位自治会では、様々な悩みを抱え、一人で負担を感じている自治会長も増えてきていることから、公民館が、自治会・町内会長同士や公民館長等との交流を図り、地域課題や課題解決の成功事例等を共有し、解決策を見出す機会となる事業を実施することにより、地域コミュニティ活動の支援を推進することを目的に実施 										
<p>イ 自治協議会等との連携による効果的・効率的な事業の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館運営懇話会（地域団体の代表者等で構成）を通し、地域の課題の把握に努めている ・公民館と区の連携を強化し、さまざまな地域課題に応じた学習機会の提供に努めている ・地域との情報共有や役割分担などにより、地域が自主的・主体的に行う事業と公民館事業の重複を避け、効果的な事業実施を図っている ・区においては、研修会などを公民館長と自治協議会会長が合同で実施するなど、地域課題などを把握する工夫を行っている ・区において、次の取り組みを行った <table border="1" data-bbox="466 1265 1417 1402"> <thead> <tr> <th>区</th> <th>事業内容</th> <th>対象</th> <th>実施時期</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>早良</td> <td>地域コミュニティ推進交流会(情報交換会)</td> <td>自治協議会会長、公民館職員、区職員</td> <td>2/21</td> <td>75人</td> </tr> </tbody> </table>	区	事業内容	対象	実施時期	参加人数	早良	地域コミュニティ推進交流会(情報交換会)	自治協議会会長、公民館職員、区職員	2/21	75人
区	事業内容	対象	実施時期	参加人数							
早良	地域コミュニティ推進交流会(情報交換会)	自治協議会会長、公民館職員、区職員	2/21	75人							
<p>ウ 公民館による自治協議会等のコミュニティ支援の充実</p>	<p>【コミュニティに対する情報提供・施設提供など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供・施設提供などの支援を引き続き実施している ・公民館職員のパソコン処理能力の向上を図り、ホームページや公民館だよりなどの情報発信力を強化する「公民館情報発信力向上支援事業」を、平成22年度より全市に拡大し実施している（早良区は平成21年度より実施） ・公民館ブログや公民館だよりと連携し、地域コミュニティの広報活動等を支援する 										

主な事業等	事業等の実績											
エ 公民館職員への研修などの実施	職員の資質向上を図るため、各区において、自治協議会との連携やコミュニティの支援、生涯学習、人権教育に関する研修などを実施している【年6回】 <ul style="list-style-type: none"> ・新任・再任公民館職員を対象に、自治協議会との連携やコミュニティ支援に関する研修を実施している ・校区担当職員による公民館訪問を通して公民館への助言・指導に努めている 											
(2) 情報通信技術（ICT）の活用促進												
ア コミュニティが行う広報活動の支援	再掲 I-(1)オ											
(3) 市役所のあり方												
ア 校区担当職員による自治協議会等のコミュニティ支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ支援に活用できるよう、校区担当職員への研修の中で、地域における課題への対応策などについての意見・情報交換を行った（IV-(3)エ） 											
イ 校区担当職員への研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・校区担当職員を対象に、次の研修を行った【5~6月】 <table border="1" data-bbox="472 1106 1417 1496"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>日時</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新任校区担当職員</td> <td>5/20</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ施策の概要とこれまでの経緯 ・活力あるまちづくり支援事業補助金 ・市民活動保険等について </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">校区担当職員（全員）</td> <td>6/12 6/19</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・人権研修 ・ファシリテーション研修① </td> </tr> <tr> <td>6/26 6/30</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーション研修② </td> </tr> </tbody> </table>	対象	日時	内容	新任校区担当職員	5/20	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ施策の概要とこれまでの経緯 ・活力あるまちづくり支援事業補助金 ・市民活動保険等について 	校区担当職員（全員）	6/12 6/19	<ul style="list-style-type: none"> ・人権研修 ・ファシリテーション研修① 	6/26 6/30	<ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーション研修②
対象	日時	内容										
新任校区担当職員	5/20	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ施策の概要とこれまでの経緯 ・活力あるまちづくり支援事業補助金 ・市民活動保険等について 										
校区担当職員（全員）	6/12 6/19	<ul style="list-style-type: none"> ・人権研修 ・ファシリテーション研修① 										
	6/26 6/30	<ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーション研修② 										

主な事業等	事業等の実績																																				
ウ 職員研修の実施	<p>【コミュニティに関する全職員研修（集合研修）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員対象の必修研修として「コミュニティに関する全職員研修」を実施している（H21.11月～） <p>〈27年度実施日・講師〉 ※ 各回2時間。8回開催</p> <table border="1" data-bbox="507 389 1275 898"> <thead> <tr> <th data-bbox="512 389 600 479">日程</th> <th colspan="2" data-bbox="600 389 1270 434">講師（主な役職）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="512 434 600 479"></td> <td colspan="2" data-bbox="600 434 1270 479">コーディネーター： 十時 裕 氏（地域活動アドバイザー）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 479 600 602">1/28</td> <td data-bbox="600 479 735 524">河野 宏康 氏</td> <td data-bbox="735 479 1270 524">（玄洋校区自治協議会会長）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 524 600 568"></td> <td data-bbox="600 524 735 568">赤瀬 清 氏</td> <td data-bbox="735 524 1270 568">（玄洋校区自治協議会会計）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 568 600 613"></td> <td data-bbox="600 568 735 613">高木 柁彌 氏</td> <td data-bbox="735 568 1270 613">（姪浜校区自治協議会会長）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 613 600 658">1/29</td> <td data-bbox="600 613 735 658">馬瀬 博 氏</td> <td data-bbox="735 613 1270 658">（鶴田校区自治協議会会長）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 658 600 703">2/1</td> <td data-bbox="600 658 735 703">馬場 公司 氏</td> <td data-bbox="735 658 1270 703">（東箱崎校区団体協議会会長）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 703 600 748">2/2</td> <td data-bbox="600 703 735 748">稲益 重樹 氏</td> <td data-bbox="735 703 1270 748">（城南校区自治協議会会長）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 748 600 792">2/3</td> <td data-bbox="600 748 735 792">川邊 哲 氏</td> <td data-bbox="735 748 1270 792">（那珂校区自治協議会会長）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 792 600 860">2/4</td> <td data-bbox="600 792 735 837">行徳 収司 氏</td> <td data-bbox="735 792 1270 837">（野芥校区自治協議会会長）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 860 600 898"></td> <td data-bbox="600 860 735 898">鶴園 久美子 氏</td> <td data-bbox="735 860 1270 898">（野芥校区自治協議会事務局員）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 898 600 943">2/5</td> <td data-bbox="600 898 735 943">井上 鴻一 氏</td> <td data-bbox="735 898 1270 943">（大名自治協議会会長）</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈主な内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ施策の考え方、取り組むべき事項 ・写真によるコミュニティの活動紹介 ・外部講師によるミニフォーラム <p>〈受講者数〉 約720人（各回90人程度）</p> <p>〈会場〉 市職員研修センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員に対し、「コミュニティと市の共働」について、研修を実施した。 <p>〈研修の概要〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員研修（社会人経験者・10月採用含）の中で実施 ・市職員が講師となり、自治協議会制度の概要を中心に説明（約350人受講） <ul style="list-style-type: none"> ・学校用務員に対し、「コミュニティと市の共働」について、研修を実施した。 <p>〈研修の概要〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校用務員全体教養研修の中で実施 ・市職員が講師となり、自治協議会制度について説明 ・外部講師によるミニフォーラム 	日程	講師（主な役職）			コーディネーター： 十時 裕 氏（地域活動アドバイザー）		1/28	河野 宏康 氏	（玄洋校区自治協議会会長）		赤瀬 清 氏	（玄洋校区自治協議会会計）		高木 柁彌 氏	（姪浜校区自治協議会会長）	1/29	馬瀬 博 氏	（鶴田校区自治協議会会長）	2/1	馬場 公司 氏	（東箱崎校区団体協議会会長）	2/2	稲益 重樹 氏	（城南校区自治協議会会長）	2/3	川邊 哲 氏	（那珂校区自治協議会会長）	2/4	行徳 収司 氏	（野芥校区自治協議会会長）		鶴園 久美子 氏	（野芥校区自治協議会事務局員）	2/5	井上 鴻一 氏	（大名自治協議会会長）
日程	講師（主な役職）																																				
	コーディネーター： 十時 裕 氏（地域活動アドバイザー）																																				
1/28	河野 宏康 氏	（玄洋校区自治協議会会長）																																			
	赤瀬 清 氏	（玄洋校区自治協議会会計）																																			
	高木 柁彌 氏	（姪浜校区自治協議会会長）																																			
1/29	馬瀬 博 氏	（鶴田校区自治協議会会長）																																			
2/1	馬場 公司 氏	（東箱崎校区団体協議会会長）																																			
2/2	稲益 重樹 氏	（城南校区自治協議会会長）																																			
2/3	川邊 哲 氏	（那珂校区自治協議会会長）																																			
2/4	行徳 収司 氏	（野芥校区自治協議会会長）																																			
	鶴園 久美子 氏	（野芥校区自治協議会事務局員）																																			
2/5	井上 鴻一 氏	（大名自治協議会会長）																																			
エ 職員向け手引きの作成	<p>事業完了</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年11月に職員向け手引書「地域との共働の手引」を発行 ・平成27年12月に、「地域との共働の手引」（改訂版）を発行 <p style="text-align: center;">[改訂内容] 自治協議会の設立数などを最新のものに更新</p> </div> <p>※ 全職員研修の中で、テキストとして使用している</p>																																				
オ 市民向けPRチラシの作成・配布	<p style="text-align: right;">再掲Ⅱ-（1）エ</p>																																				
カ 「コミュニティ通信」を通じた地域情報の発信	<p style="text-align: right;">再掲Ⅰ-（1）イ</p>																																				

■ 平成28年度の新規事業等

魅力・絆づくり

○ 共創自治協議会事業【拡充】

従来の「活力あるまちづくり支援事業補助金」について、自治協議会が行う地域住民の交流の場づくり等の絆づくりなど共創の取組みを進めるとともに、地域役員等の担い手不足解消に向けた支援を行うことを目的とする。

※平成28年度拡充内容

自治協議会制度発足から10年を経て、「地域のまち・絆づくり検討委員会」からの提言も踏まえ、地域のまちづくりを自治の確立の段階から共に創る「共創」の段階へ進め、地域の未来を様々な主体と共に創る取組みを推進するもの。

(1) 「事業費」の増額

地域カフェなどの絆づくりや校区の特性に応じた取組みを推進するため、事業費を増額。

※人口区分に応じて8～12万円を増額

(2) 「運営費」(活動費)の増額

自治協議会役員の校区内での連絡調整等に係る費用として、活動費分の金額を増額。

※自治協議会会長の活動費の平均額が約5万円(H26自治協議会アンケート)であることから、会長を補佐する役員の活動費も含め、人口区分に応じて8～12万円を増額

○ 校区ビジョン策定支援【新規】

住んでいる地域の現状と将来像を校区住民が共有し、地域の目標や特性を生かした地域による地域のためのまちづくりの推進を図るとともに、外からの視点も活かして将来像を語り合う過程を経ることで、住んでいる地域へのさらなる愛着と誇りの醸成や、新たな地域活動の担い手の発掘・育成を図る。

担い手づくり

○ “ふくおか”地域の絆応援団事業【新規】

地域活動を応援している企業や商店街等を登録・公表して地域との連携を進めるとともに、特に貢献度の高い企業・商店街等について感謝状を贈呈する。

また、「応援団」の活動を推進する組織を設置し、フォーラムやセミナーを開催するほか、交流の場を設けるなど企業間の情報交換や取組みの推進を図る。

○ 学生がデザインする公民館事業【新規】

地域の一員である学生に地域に地域での交流を促すとともに公民館の「つなぐ」機能の強化を図るため、学生と公民館が地域に向けた事業の企画・実施をし、その成果を発表するとともに、これから連携を目指す公民館、学校及び学生のための冊子を作成し、配布する。

○ 地域の担い手パワーアップ事業【リニューアル】

平成27年度まで実施していた「地域人材発掘・育成支援事業」、「自治会コミュニティ応援事業」「みんなの公民館づくり(地域・公民館の情報発信の強化)」「ふるさとフォトミュージアム事業」「みんなの公民館づくり(住民の活動の場づくり)」を以下の5つのプログラムにリニューアルし、そのうち4つについては、区が選択できるカフェテリア方式とすることで、地域の実情に応じた効果的な事業とする。

(1) 必須事業

公民館の地域力応援プログラム

公民館職員の地域コミュニティ支援能力を向上させるための講座等を実施。

(2) 選択事業

ア 地域の担い手スタートプログラム

町内会長に初めて就任される方や、地域活動に初めて参加される方等を対象に、新たな地域の担い手として、楽しんで活動を続けていただくための講座の実施や交流機会の提供等を行う。

イ 地域の担い手ネクストプログラム

町内会や各種団体の役員などを対象に、地域課題の解決や充実した地域行事の企画・立案などが可能な地域の担い手を養成するための講座等を実施する。

ウ ICT担い手づくりプログラム

地域で「公民館ブログ」や「自治協ブログ」などでICTを活用した地域情報を収集・発信する人材を育成するための技術講習等を実施する。

エ きっかけづくりプログラム

地域住民に気軽に公民館に来館いただき、新たな集まりや交流を生むため、公民館ロビーなどを活用したイベントや環境づくりを実施する。

今津校区まちづくりビジョン ～今津の子どもが増える環境づくり～

今津校区自治協議会・すみよい今津をつくる会（平成 28 年 3 月）

取り組みの背景

福岡市の人口は増加、でも今津は減少
干潟や松原、元寇防壁や寺社、福祉重視の人情味あるコミュニティ、
手ごろな地価、地区計画、魅力ある資源に恵まれているのに…

取り組みの概要

「今津の子どもが増える環境づくり」のために、何に取り組むのか？

今津校区の住民で…

まちづくりフォーラム 2015
～今津の子どもが増える環境づくり～



今津で働く方々・関心ある方々も交えて…

いまづ まちづくりフォーラム

第 1 回～プロジェクトづくり～

平成 27 年 12 月 19 日（土）14：00～
参加者：85 人（うち校区外参加者 37 人）

第 2 回～プロジェクトの具体化～

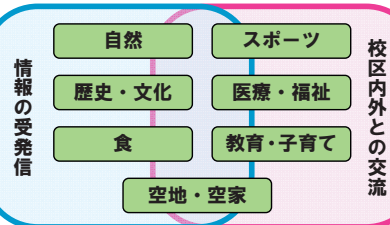
平成 28 年 2 月 6 日（土）14：00～
参加者：64 人（うち校区外参加者 26 人）

今津校区のまちづくりビジョン

まちづくりの目標

子どもが増える環境づくり

まちづくりの方針



今津の資源を活用する

今津固有の恵まれた「自然」「歴史・文化」「食」「スポーツ」「教育・子育て」「医療・福祉」「空家・空地」などの資源や施設を活かす

アピールする（情報の受発信）

自然や歴史・文化などの魅力をはじめ、今津の住みやすさを伝える情報を集め、校区内外へアピールする

校区内外と交流する

校区内のさまざまな施設や団体、九州大学をはじめとする校区外の団体、市民と交流し、連携・協力してまちづくりを進める

今津の子どもが増える環境づくりのために ～フォーラムで話し合われたプロジェクトのアイデア～

自然と歴史・文化を活用する

- 地域の人に今津の自然を知ってもらい、住んでもらうために…
改めて今津の価値を知ろうプロジェクト
- 大原山の桜 花見ができるように…
大原山 さくら木 山道の整備プロジェクト
- 自然を守りながら利用する（食、観光、旅、マリンスポーツ等）ために…
自然の大切（生きる）プロジェクト

食を活用する

- 高齢者対策と居住者誘致のために…
スーパー出店プロジェクト
- 既存資源の活用し、活性化、充実のために…
道の駅プロジェクト

スポーツを活用する

- パラリンピックの誘致と生涯スポーツで健康寿命を延ばすために…
スポーツ合宿地誘致プロジェクト
- 地域活性化のために…
運動公園の活用プロジェクト

医療・福祉を活用する

- 高齢者の支援のために…
今津校区の高齢者支援のあり方プロジェクト

教育・子育てを活用する

- 安定した教育活動の充実のために…
教育 100 年計画プロジェクト
- 特色ある教育で、魅力ある地域づくりのために…
教育環境向上プロジェクト
- 子育て・教育の具体化を図るために…
今津子育て・教育プロジェクト

空地・空家を活用する

- どんどん家を建ててもらうために…
子育て世代特区づくりプロジェクト
- 今津の活性化と人口増加（子ども）のために…
今津のフランディング 都市（町）計画モデル住宅プロジェクト

今後の展開 ～部会とプロジェクト（案）～

自然と歴史・文化部会

- 自然と歴史を知る
・ツアー・勉強会 等
- 自然と歴史・文化を伝える
・元寇松原、今津人形芝居
・今津干潟、三角池
・カキの管理・養殖 等

食とスポーツ部会

- 食とスポーツによる健康づくり
今津運動公園の活用策
・校区の生涯スポーツの場として
・障がい者スポーツの場として
・校区イベントの場として
・農水産物の販売の場として 等

教育・子育て部会

- 教育・子育ての環境づくり
・地域・小中学校・大学・施設との交流（話し合いの場）
・地域・小中学校・大学・施設との連携（学びと遊びの場） 等

移住部会

- 住まいの環境づくり
空家・空地の活用
・実態と意向把握・リスト化
・受け入れストックの条件整理
・受け入れ体制づくり 等

情報発信部会

- 情報収集と発信の窓口づくり
・情報発信委員会の設置
・ホームページ開設 等

塩原校区まちづくりビジョン ワークショップのまとめ

平成 28 年 3 月

取り組みの背景

- ・転入者が多く、人の入れ替わりが多い。
- ・新しい子育て世代と長く住んでいる方とのコミュニケーションが少ない。
- ・校区を4つのブロックに分けて、運動会や避難訓練などで利用している。
- ・校区のスローガンは「優しい笑顔と明るい挨拶」。

取り組みの概要

第1回 ワークショップ

日時：平成 27 年 12 月 21 日（月） 19:00～21:00

場所：塩原公民館

参加者数：40 人

第2回 ワークショップ

日時：平成 28 年 2 月 8 日（月） 19:00～21:00

場所：塩原公民館

参加者数：33 人



第1回ワークショップ

●グループワーク1：ブロック毎によいところと悪いところを書き出す

塩原校区の特徴として

- ・JR や西鉄の駅に近く、交通の便はいい。
- ・公共施設も多く、日常生活は基本的に便利。
- ・若い世帯の転入が多いが、転出も多い。

●グループワーク2：課題を解決するには？

主な課題として

- ・防災（特に水害）
- ・公園（ゴミ、安全性、利用されていない）
- ・人やコミュニケーションの課題（高齢者、外国人、転出入者が多い、集合住宅、ワンルーム）
- ・九大との交流がない

コミュニケーションの課題

- ・コミュニケーションが少ない
- ・人が集まる場所が少ない
- ・こどもが少ない
- ・高齢者が多い
- ・出入りが激しい
- ・単身者が多い
- ・外国人が多い
- ・集合住宅と戸建てでのコミュニケーションがない
- ・掃除をする人がいない
- ・ワンルームは地域に密着していない
- ・九大生との交流がない

第2回ワークショップ

●グループワーク1：「コミュニケーションがとれると、どんないいことがあるの？」

みんなにとって：災害時の声掛け、防犯、情報の共有、地域への愛着
孤立がなくなる、生活が楽しくなる（飲み友達）

高齢者にとって：孤独死がなくなる、外出が増える、声掛け気にかける

子ども・親にとって：友達ができる、子育て相談ができる

学生にとって：リサイクル品などがもらえる、力仕事を手伝う

外国人にとって：ゴミ出しや交通のルールがわかる

●グループワーク2：「コミュニケーションを図るための方法を考えよう！」 以下のようなアイデアが得られました。

「ツール」づくり

- ・ルールブック（外国人の方向け、ゴミ出しポスター）
- ・招待状（校区催事、九大学祭）
- ・学生回覧板など

「場」づくり

- ・公共施設：小中学校、公民館、市民センター、九大など
- ・民間施設：カフェ、飲み屋、塾、病院・保育園のホール

「機会」づくり

- ・季節の行事：もちつきお餅が食べられる
- ・運動・スポーツ：運動会→テント立てやリレー選手に若い学生などを
- ・公園ごとに太極拳、ヨガ、ラジオ体操

塩原ならではの！

- ・九大の学生と：サークルや学校の体験、逆に高齢者サロンなどに出張
- ・外国人の方と：外国人の方に国のことを教えてもらう／日本のことを教えてあげる
- ・企業の方と：企業のお祭りと連携
- ・その他：防災訓練

塩原校区まちづくりビジョン

- ・こどもの成長をみんなで見守るまち
- ・高齢者もみんなが生き活きと活躍するまち
- ・学生も外国人もみんな一緒に楽しむまち

参加者に考えていただいたフレーズをもとに、「まちづくりビジョン」について地域で話し合いが行われました。その結果、ワークショップでの意見をうまく反映し、これからの地域活動を具体的にイメージできるということで、左記のまちづくりビジョンが決定されました。

●個人ワーク：塩原校区の「校区ビジョン」を考える

参加者のフレーズ集からは、以下のようなキーワードが得られました。

- 「自然」：那珂川、清流、緑、うまい空気、青い空、自然の風
- 「気持ち」：優しい、明るい、笑い（笑顔）、陽気、元気になる、楽しく暮らせる
- 「行動」：挨拶、出会い、つなぐ、見守る、声掛け、成長しあえる、助け合える

「ふくおか」地域の絆応援団 一覧

	企業名(事業者)	所在地		動機及び目的	活動概要	具体的な活動内容	活動の成果や感想	その他	
1	株式会社 ふくや	福岡市博多区中洲2丁目6-10		「私たちが奮んでくれた福岡への感謝の気持ちを忘れず、この街とともに発展していきたい」との思いから、創業者の故川原俊夫社長の頃から様々な社会貢献活動に取り組んできた。	<ul style="list-style-type: none"> ■地域活動への従業員の派遣 □地域活動への場所の提供 □地域における交流イベントや見守り事業等の実施 ■地域役員になった従業員への手当や有給休暇等の制度の創設 □地域団体と災害時の協力的体制などの協定書や覚書などの締結 □その他のコミュニティ活動の応援（金銭のみの協力は除く） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の祭りへの参加や文化・スポーツ振興への協賛をはじめ、町内会やPTAの役員、地域のスポーツチームのコーチなど、地域社会のためにボランティア活動を実践する社員に「地域役員手当」を支給するなど、ユニークな制度で地域に根ざした活動の支援を行っている。 ・子どもの授業参観など学校行事、保育所・幼稚園行事や地域活動への参加を奨励し、勤務時間内においても認めている。 	地域のために尽力する初代の姿勢が、自然と社員一人ひとりの意識の中に根づいていった。会社で働いている時はもちろん、定年退職した後も、個人として地域社会に自然体で溶け込み、いきいきと活躍してほしいと思っている。	1994年に「網の目コミュニケーション室」を開設し、社員の地域活動への積極的な参加を促し、祭りや伝統芸能・イベントなど年間40件を超える催しに協賛するとともに、社内外への情報発信に努めている。	
	電話番号	092-291-3575	FAX番号						092-291-2460
	ホームページURL	http://www.fukuya.com/							
	事業内容	食品製造・販売	設立年月日						1980年8月 (創業1948年10月)
2	長住大通り商店街	福岡市南区長住4丁目2-30		当時、交通不便により、当校区及び周辺校区から放生会に行きづらかったため、放生会のあの灯りをこの周辺の子どもたちに見せたいという想いで、当商店街と自治協議会とが共催という形で始まった。	<ul style="list-style-type: none"> ■地域活動への従業員の派遣 ■地域活動への場所の提供 ■地域における交流イベントや見守り事業等の実施 □地域役員になった従業員への手当や有給休暇等の制度の創設 □地域団体と災害時の協力的体制などの協定書や覚書などの締結 □その他のコミュニティ活動の応援（金銭のみの協力は除く） 	<ul style="list-style-type: none"> ・長住まつり振興会へ役員派遣 ・長住まつり実行委員会へ人材を派遣 ・開催数か月前より準備を始め、まつり終了後1か月まで活動 	この祭りは、地域にある諸団体との交流の場や地域住民との交流の場になっており、40年間当商店街と自治協議会との橋渡しをし、提供している飯盛相談役を始め、平成26年度より「長住夜市」を開始し、地域の安心安全にも寄与している。	「長住まつり」の開催だけではなく、地域の防犯効果を高め、地域住民の防犯意識の高揚を図るため、平成26年度より「長住夜市」を開始し、地域の安心安全にも寄与している。	
	電話番号	092-511-2255	FAX番号						092-511-6611
	ホームページURL	http://nagazumimaturi.web.fc2.com/							
	事業内容	任意団体商店街組織	設立年月日						昭和48年4月
3	花みずき通り商店会	福岡市城南区茶山5丁目27-3 ミキヤ店内		商店街が立地する地域のランド化を目指し、街内主要幹線道路沿いに「花」を商店街のシンボリックな資源として位置づけ、あわせて賑わいを創出する。	<ul style="list-style-type: none"> □地域活動への従業員の派遣 □地域活動への場所の提供 ■地域における交流イベントや見守り事業等の実施 □地域役員になった従業員への手当や有給休暇等の制度の創設 □地域団体と災害時の協力的体制などの協定書や覚書などの締結 ■その他のコミュニティ活動の応援（金銭のみの協力は除く） 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の美化 歩道に花を植えたプランターを設置 七隈校区フラワーフレームと連携して学園通り線の沿道に自費でプランター（花）を設置 ・ふれあいフェスティバル 公民館、体育振興会、青少年育成連合会等の地域各種団体と実行委員会を組織し、企画・準備・運営までを連携実施 	商店街同士の連絡だけではなく地域の皆さまとも話をするきっかけができた。		
	電話番号	092-871-0758	FAX番号						092-861-1610
	ホームページURL								
	事業内容	地域振興	設立年月日						
4	上長尾名店街	福岡市城南区樋井川3丁目17-10		様々なイベントを通じ、地域の輪を大切にす名店街を目指している。	<ul style="list-style-type: none"> ■地域活動への従業員の派遣 ■地域活動への場所の提供 ■地域における交流イベントや見守り事業等の実施 □地域役員になった従業員への手当や有給休暇等の制度の創設 □地域団体と災害時の協力的体制などの協定書や覚書などの締結 ■その他のコミュニティ活動の応援（金銭のみの協力は除く） 	<ul style="list-style-type: none"> ・西長住校区自治協議会の構成団体として、校区運営に協力している。 ・校区夏祭りの運営に協力し、景品等も提供している。 ・名店街主催のマルシェでは、自治協議会を通して区役所より健康器具を借用して、校区の健康づくりに寄与するとともに、加盟店駐車場で住民の交流の場を創出している。 ・名店街主催の餅つきには、町内会も一緒に参加していただくことにより、住民の交流の場を創出することに寄与している。 	運営の協力や場の提供など地域とともに事業を行うことにより、名店街の魅力を広く地域住民に知っていただくことができ、WinWinの関係が築けている。		
	電話番号	092-552-4649	FAX番号						092-552-4669
	ホームページURL	http://route-555.com/							
	事業内容	任意団体商店街組織	設立年月日						1971年
5	イオン九州(株)イオンモール香椎浜	福岡市東区香椎浜3丁目12-1		地域における障がい福祉事業所による授産製品販売の支援を目的として、「ふれあい広場実行委員会」主催による地域支援のイベントとして実施している。	<ul style="list-style-type: none"> □地域活動への従業員の派遣 ■地域活動への場所の提供 □地域における交流イベントや見守り事業等の実施 □地域役員になった従業員への手当や有給休暇等の制度の創設 □地域団体と災害時の協力的体制などの協定書や覚書などの締結 □その他のコミュニティ活動の応援（金銭のみの協力は除く） 	障がい者と地域とのコミュニケーションを図る場として、イオンモール香椎浜が「場」を提供し、「ふれあい広場」を毎年秋に開催。授産製品の販売や地域の保育園、高校、大学、福祉団体、警察、消防も参加して、踊りや演奏、体験コーナーなどを設け、地域の方と触れ合うことで、障がい者に対する支援・理解を深めている。	これまで、イオンモール香椎浜では3回実施しており、年々活動内容が充実され、感動を与えるイベントとなっており、障がい者への支援・理解の促進に寄与している。		
	電話番号	092-673-6100	FAX番号						092-673-6101
	ホームページURL	http://kashihama-aeonmall.com/							
	事業内容	小売業(GMS)	設立年月日						2003年11月

企業名(事業者)		三笠特殊工業株式会社		動機及び目的	活動概要	具体的な活動内容	活動の成果や感想	その他
11	所在地	福岡市博多区博多駅前1丁目16-14		<p>「社会貢献」を理念に掲げ、創立以来40年間、この精神を大切にし、社員一同で社会活動に取り組んできた。近年では、地域交流センターの指定管理事業を中心に、「地域の絆づくり」を応援している。</p>	<p>■地域活動への従業員の派遣 □地域活動への場所の提供 ■地域における交流イベントや見守り事業等の実施 □地域役員になった従業員への手当や有給休暇等の制度の創設 □地域団体と災害時の協力的体制などの協定書や覚書などの締結 ■その他のコミュニティ活動の応援（金銭のみの協力は除く）</p> <p>〔地域とNPOをつなぐ交流支援、地域情報提供の発信やアドバイスなど〕</p>	<p>・運営している地域交流センターに「地域相談員」という部門を設置。地域の課題を一緒に考える窓口として、活動を支える仲間として取り組んでいる。 ・地域で行われるお祭りへの応援・参加。公民館、自治協議会など校区の方と連携し企業と市民の垣根を越えた支援をしている。 ・スポンサー花壇・地下鉄大濠公園駅花壇・など福岡市のみどりのまち推進等に協力し、福岡市の美しいまちづくりと花壇づくりに参画している。</p>	<p>地域の皆さまとともに地域課題に向き合い、地域活動に本気で参加することで、地域からの信頼を得ることができ、より良い地域づくりに積極的に貢献できるようになった。また、そのことを通じて、社員一人一人の自信につながり、生産効率も向上している。これからは全社をあげて地域活動を進め、みんなが「福岡市は安心・安全に暮らせる場所」と思えるような次の時代の福岡を目指して努力していく。</p>	<p>昨年度新設されたCSR推進室を中心に、これからの社会に対する企業責任のあり方を考え、地域の皆さまと手を取りあって企業活動を展開する。美しく、心地よい笑顔の「未来」を創造するため、三笠特殊工業株式会社は、今後も、今以上に地域活動に取り組んでいく。</p>
電話番号	092-431-3829	FAX番号	092-481-7310					
ホームページURL	http://www.mikasakk.co.jp							
事業内容	環境プラント 建物ビル トータル マネジメント	設立年月日	1975年1月					
12	企業名(事業者)	株式会社 百田工務店		動機及び目的	活動概要	具体的な活動内容	活動の成果や感想	その他
	所在地	福岡市東区多の津1丁目4-5		<p>事務所移転を機に、流通センター祭りに社員を派遣するなどし、会長の百田篤、社長の百田善太郎をはじめ社員一丸となり、地域への恩返しのため、様々な貢献活動に取り組んできた。</p>	<p>■地域活動への従業員の派遣 □地域活動への場所の提供 ■地域における交流イベントや見守り事業等の実施 □地域役員になった従業員への手当や有給休暇等の制度の創設 □地域団体と災害時の協力的体制などの協定書や覚書などの締結 □その他のコミュニティ活動の応援（金銭のみの協力は除く）</p> <p>〔 〕</p>	<p>・積極的に地域の祭りや文化・スポーツ振興へ協賛している。 ・会社を挙げて地域の一言清掃を行い、地域の活性化に貢献できるように努めている。 ・事業所前の道路沿いに、花を植えたプランターを設置し、地域の環境美化に努めている。 ・町内会地域社会のため地域活動への参加を奨励し、勤務時間内においても認めている。 ・「地域の安心・安全なまちづくり」の一環として、地域治安向上のために、社員が地域の防犯パトロールに取り組んでいる。</p>	<p>代表者の地域活動へ貢献する姿勢が社内に浸透し、社員一人一人の地域貢献への意識が上がり、さらには社を挙げて積極的に活動参加するようになった。</p>	
電話番号	092-611-2661	FAX番号	092-611-1477					
ホームページURL	http://www.momota.co.jp							
事業内容	建設業	設立年月日	1956年1月					